

官報

號外

明治三十年三月十日

水曜日 內閣官報局

第十回 貴族院議事速記録第十六號

帝國議會 貴族院議事速記録第十六號

明治三十年三月九日(火曜日)午前十時十五分開議
議事日程 第十六號 明治三十年三月九日
午前十時開議

- 第一 男爵島津珍彦君請暇ノ件
- 第二 古社寺保存法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第三 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第四 傳染病豫防法案(政府提出) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第六 復祿及復族祿ノ請願
- 第七 明治七年以後戰死者遺族弔祭料下賜ノ請願
- 第八 地租免除ノ請願
- 第九 羽越鐵道ヲ第一期線ニ繰上ケ敷設ノ請願
- 第十 清國債金ノ一部ヲ普通教育基本金ニ充ルノ請願
- 第十一 古社寺保存ノ請願
- 第十二 拂下米下附ノ請願
- 第十三 不正肥料販賣取締ニ關スル法規制定ノ請願

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(有賀書記官朗讀)

昨八日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

蠶種検査法案

鐵道敷設法中改正法律案

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案

明治二十七年法律第二十三號改正法律案

同日衆議院ヨリ政府提出豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(姫路島取間)ヲ否決シタル旨ノ通牒ヲ受領シタリ

委員長(公爵近衛篤磨君) 干 城君

新聞紙條例中改正法律案特別委員會

委員長 子爵谷 干 城君

種牡馬検査法案特別委員會

委員長 侯爵松平 康莊君

男爵西五辻文仲君 議長

○議長(公爵近衛篤磨君) 西五辻男爵……何デスカ

○男爵西五辻文仲君 私ハ議長ニ本日ノ議事日程ニ進ミマス前ニ伺ヒタイコトガゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○男爵西五辻文仲君 去ル四日ノ會議ノコトデスガ、市制町村制水利組合條例及地方學事通則ニ關スル法律案、此會ノトキ谷君ヨリ御辯論ガゴザイマシテ、ソレニ對シテ三崎政府委員ヨリ答辯ガアリマシタ、其事ハトント此速記録ニ載ツテ居ラス、或ハ何カ三崎政府委員ヨリ取消シテ吳レイト云フヤウナ請求デモアリマシタノデスカ、何ゾ他ニ正誤デモ出テ居リマスカ本員ハトント見當リマセヌ

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット今調ベテ御答致シマス……アレハ何ダサウデス印刷ニ送付ノ際誤テ脱落シタサウデス、八日ノ速記録ニ正誤ガ出テ居リマス

(國務大臣侯爵蜂須賀茂韶君演壇ニ登ル)

○國務大臣(侯爵蜂須賀茂韶君) 諸君、過日谷子爵久保田讓君兩君ヨリ高等教育會議規則ニ關スル質問書ヲ御提出ニナリマシタ、依ッテ本大臣ハ今日此席ヨリ御答辯ヲ致シマス、質問提出者ノ趣旨ト申シマスハ舊臘發布セラレマシタ 勅令即チ高等教育會議規則ト云フモノハ不完全デアル、即チ組織ガ不完全デアルニ依ッテ政府ハ之ヲ補正スル意ガアルカト云フヤウナ御質問デゴザイマス、其不完全ト云フコトノ要點ニ於キマシテハ速記録ニ於テ諸君モ御覽ニナリマシタ通入保田君ヨリ縷々申述セラレマシタノデ其趣意ハ會議ノ組織ガ狹イ、狹少デアル、斯ウ云フ御趣意ニ過ギヌノデアル、即チ質問書ノ冒頭ニ掲ゲラレタル通教育社會全般ヲ代表スルニ足ルヲ要スルと思フニ甚ダ狹イ、組織ガ狹イト斯ウ云フ御議論デアルノデゴザイマス、勿論教育社會ノ輿論ヲ聞ク必要ハ申スマデモナイコトデアルコト教育上學識經驗アル者ニ就テ公平著實ナル意見ヲ聞イテサウシテ教育行政ニ資スルコト云フコトハ元ヨリ好ム所デアリマス、ノミナラズ進ンデ務ムベキコトデアラウト本大臣ハ信ジテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ教育ノ事務ト云フモノハ社會萬般ノ事業ニ關與スルモノデアリマスニ依ッテ其關與スル所ノ部局カラ會議ノ議員ヲ集メルト云フコトニナリマスレバ隨分是ハ區域ノ廣イコトニナルノデゴザイマス、質問者モ辯セラレマシタ如ク法制ニ關係ガアルカラ法制局長官モ議員ニセナケレバナラズトカ縣治ニ關係ガアルカラ縣治局長モ議員ニセナケレバナラズトカ華族教育ニモ關係ガアルニ依ッテ學習院長、華族女學校長モ議員ニセナケレバナラズトカ其他陸海軍將校モ軍事教育ニ關係ガアルトカ又商船學校長、電信學校長、音樂學校主事ト云フ如キ其他又實業教育ノ方カラ申セバ農務局長、商工局長、通商局長ト云フ如キ隨分申シテ參レバ廣イ區域ニナルノデゴザイマス、ソレカラ又取締上ニ關係ガアルカラ警保局長トカ或ハ臺灣ノ教育ニ關係ガアルカラ拓殖務省ノ官吏モ這入ラナケレバナラズト云フヤウナコトニナル、之ヲ各會議ニ列セシマルコトハ行政成法ノ秩序職責上カ

ラ申シテモツレ程ノ必要ハアルマイト存シマス、内閣中ノ一省タル文部ノ諮問機關トシテハツコマデ至ルト云フコトハ大變區域ガ廣クハナリハセヌカ
云フコトモゴザイマス、ツレカラ又各種學校ノ方デ申セバ師範學校中學校
女學校或ハ農工商ノ實業學校トカ美術學校音樂學校盲啞學校ト云フ如キ隨分
數ヘテ參レバ多ク其種類ハアルノデゴザイマス、是ハドウ云フモノカト申シ
マスレバ其性質目的モ各異ナツテ居リマス、又都鄙ノ區別モアリマス、規模
ノ大小モアリマス、公私立ノ差違モアルト云フ如キコトデアリマス、其利害
ノ點ニ至ッテハ千差萬別ト云フ譯デアラウト思ヒマス、是等ノ各種學校ヨ
リ質問者ノ御望ノ如ク一二ノ議員ヲ設ケルト云フ如キコトヲ致シテモ完全ナ
ル效果ヲ見ルヲ得ラレヤウカト云フコトハ甚ダ疑シク存スルノデゴザイマ
ス、ツレデ此師範學校トカ中學校トカ云フヤウナ種類ニ至リマシテハ是マデ
モ師範學校長ノ會議ナドハ各地ノヲ寄セテ致シタコトモアリマス、又中學校
長會議ナドト云フコトモ是亦開設シテ宜シイト考ヘテ居リマス、又中學校
云フ學校長ノ會議ヲ以テ十分ニ諮問ヲ致シ意見ヲ徵スルト云フコトモ出來
ル譯デアリマス、其邊ノコトハ意ラズ本大臣ノ監督ノ下ニ於テ隨時必要
ヲ見タ時分ハ之ヲ召集スルコトハ追々取行ヒタイト存スルノデゴザイマス、
ツレデ所謂其輿論ヲ聽クト云フ方ノ目的ハ達スルト信ジマス、ツレデ要ヲ摘
ンデ申シマスレバ此度發布セラレマシタル勅令即チ高等教育會議規則ナルモ
ノハ教育ニ關係ノアル各部局各階級ト云フモノカラ議員ヲ出シテ其利害ヲ代
表サセルト云フマデノ趣旨デハナイノデゴザイマシテ本大臣ノ最高ノ教育諮
問ノ機關ト云フモノヲ備フルガタメニ閱歷アリ經驗アリ智識アル教育各部ノ
要衝ニ立ツ者及本大臣ノ特選致ス者ヲ以テ組織ヲ致シテ最モ重キヲ置ク所ノ
意見ヲ徵シテ教育施政ノ參考ニ供サウ、斯ウ云フ趣旨ニ外ナラヌノデゴザイ
マス、其趣意ヨリ組織致シタヤウナ譯デアリマス、依ッテ質問者ノ御趣意ト
本大臣ノ考デ組織シタノトハツコニ聊カ差違ノアルコト、存スルノデゴザイ
マス、ツレカラ質問書ニ別ニ認メテハアリマセヌケレドモ質問提出者ノ演說
ニ據リマスレバ此秘密會議ニシタト云フコトガ宜シクナイト云フ御議論モアリ
マシタ、然ルニ教育行政ノ諮問機關トシテ組織ヲ致シタ以上ハドウモ性質上
公開スルベキモノデナイト云フ考デアルノデゴザイマス、ツレデ其事ヲ規
則上ニ明記ヲ致シタト云フコトニ過ギヌノデゴザイマス、又開會ノ度數ト
云フコトニ就イテハ御議論モアリマシタ、毎年一回トカ云フコトニ極メネバ
何時開會スルノヤラ大臣ノ勝手次第開カザルヲ得ルト云フコトニナツテハ
宜シクナイト云フヤウナ御議論モアリマシタ、是以テ御懸念ニハ及ブマイト
思フノデス、決シテ此會議ヲ開クト、云フモノハ毎年一回ニハ止マラヌ積
デゴザイマシテ隨時會議ヲ開クト云フ積デゴザイマス、其邊ノ御懸念ニハ
及ブマイト此事モ存スルノデス、ツレデ其他ニモ不完全ト云フコトニ就テノ
質問提出者ノ御意思ト云フモノガアリマシタケレドモ總テツレハ此教育社會
全般ヲ代表スルモノニシヤウト云フ方カラ組織ノ廣イ區域ニ至ルニ伴ッテ御
主意ニ過ギヌト存シマス、是ハ別段ニ御答ヲ致スニハ及バヌト存シマス、
ノデ、畢竟高等會議ト云フモノハ舊勅令デ以テ其規則ヲ發布サレタト云フ
マデノコトデアリマシテ未ダ實施ニモ到ッテ居ラヌノデゴザイマス、ツレデ
實施ノ曉ニ至ルマデニハ會員ノ選擇ト云フコトモ最モ慎重ニ致ス積デゴ

ザイマス、其議事ヲ貴重スルコトハ申スマデモナク完全ナル諮問機關タル
ノ效果ヲ收メヤウト云フコトヲ欲シテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ實施ニモ未
則上缺點ト稱スルモノハ認メテ居ラヌノデゴザイマス、併ナガラ實施ニモ未
ダ至ラヌ今日デゴザイマス、依ッテ實施ノ後尙ホ不都合ノコトヲ見出スト
云フコトガゴザイマス、補正スル積デゴザイマス、併シ今日ニ於キマシ
イマシテ、必要ガアレバ補正スル積デゴザイマス、併シ今日ニ於キマシ
テハ未ダ補正スルコト云フコトニ就テハ可否ハ明言スルコトガ出來マセヌ
デ、今日ハ此規則ヲ以テ實施スル考デアリマス、其必要ヲ見ヌト存
シマス、大體ニ於キマシテ唯今申述ベマス、如キノ主意デゴザイマス、
依ッテ質問提出者ノ御意思ト云フモノハ聊カ本大臣ノ考ヘル所トハ差違モゴ
ザイマス、併シ教育ノコトニ就テ熱心ノ餘リニ斯ノ如キ質問ヲ御提出ニ
ナツタト云フコトハ本大臣モ喜ンデ認メテ居ル所デアリマス、依ッテ唯今
申述ベマシタル如キ所ヲ以テ宜シク御了解アラント希望致シマス
○久保田君 唯今文部大臣ノ御演說ニ就テ少々質問致シタコトガゴザイ
マスガ、大分込ミ入ッテ質問ヲ致シタコトガゴザイマス、依ッテ演壇ヘ出テ
其質問ノ主意ヲ述ベタイト思ヒマスガ宜シウゴザイマス
(久保田君演壇ニ登ル)
○久保田君 先達テ谷子爵並ニ本員ヨリ質問致シマシタル高等教育會議規
則ノコトニ就テ本日文部大臣ヨリ縷々御答辯デアリマシタコトハ甚ダ謝ス
譯デアリマス、從來ノ例ニ據レバ總ベテ一片ノ書附ヲ以テ答辯ニナリ、殊ニ前
文部大臣ハ此事件ニ就キマシテハ會議ノ終リ、最終ノ日ニ至ッテ一片ノ拒絕的
ノ答辯ヲサレタト云フヤウナ譯デアリマス、不満足ニ存スルノデアリマスガ、今日
文部大臣ガ親ク議場ニ出テ縷々御答辯ニナリマシタコトハ本員ノ甚ダ深ク謝
スル譯デアリマス、ツレニ就キマシテ此事柄ハ一朝一夕ニ思附キマシタコト
デモゴザイマセズ、又吾々一人ガ考ヘテ居ルト云フ譯デアリマス、教育社會ニ數
年蟠ッテ居ル所ノ疑問ノコトデゴザイマス、依ッテ尙ホ今日蜂須賀文部大臣
ノ御答辯ニ就テ疑ハシイ點ヲ十分ニ申述ベマシテ明ニ文部大臣ノ御答辯ヲ得
テ置キタイト思フコトガアルノデゴザイマス、唯甚ダ遺憾ナルコトハ今日ハ
突然ニ文部大臣ノ御答辯ニ接シマシタ故ニ前ニ質問ヲ致シマシタ書類並ニ長
キ間取調ベテ居ッテ所ノ材料等モ一モ所持シテ居リマセヌ、ツレ故甚ダ其御
問ヒ申スコトガ或ハ前後ヲ失ッタリ又十分其趣意ヲ貫徹シナイト云フコトガ
アルカモ存シマセヌ、ツコハ文部大臣ニ於カセラレマシテ宜シク御推察アッ
テ大體ノコトニ就テ御聽取リヲ願フヤウニ致シタ、ツレデ私ガ今日文部大
臣ニ伺ヒタイト云フハ一口ニ申セバ此高等教育會議ト云フモノヲ御設ケニ
ナツタノハ教育社會ノ從來希望シテ居ル所、並ニ衆議院貴族院ヨリ熱心ナル
建議ヲ差出シマシタ其主意ヲ採納セラレテ此規則ト云フモノヲ發布サレタ
デアルカ、或ハツレ等ノコトニ拘ラズ文部大臣ノ一己ノ見ラ、所ヲ以テ即
チ文部省ノ所見ヲ以テ此會議ト云フモノヲ設ケラレタノデアアルカト云フコト
ヲ御聽キ申シタ、ツレガ御尋ヲスル要點デア、ツレデ少シ私ガ前ニカラ
ノコトヲ又繰返シテ申サナケレバナラヌコトガアルノハ唯今ノ文部大臣ノ御
演說ニ據レバ教育社會並ニ此議院ヲ希望致シテ居ル所ノ教育社會ノ輿論ヲ聞
クト云フコトニハ異議ハナイ輿論ヲ聞クト云フコトハ務テ聞キタイト積デア

ト斯ウ云フ御主意デアッタヤウデア、ソレカラシテ其組織ハ必シモ現在ノ組織ヲ與論ヲ聞クト云フコトニ不十分デアルト云フコトハナイ、現在ノ組織ヲ與論ヲ聞ケル積デア、若シモ此質問者ノ希望スル如キ組織ニナラバ其組織ガ非常ナ宏大ナモノデア、且ツ錯雜致シテ却テ十分ナル與論ヲ聞クニハ不都合デア、ハナナカト云フコトノヤウナ大體ノ御主意ト承タデアリマス、ソコガ二吾々ノ考ヘル所ト違ッテ居ル點デアリマシテ吾々ノ見ル所デハ第八議會ニ於テ建議者カラ質問……建議者ガ説明ヲ致シタ如ク教育社會ノ與論ト云フモノヲ文部大臣ガ開カレヌケレバ唯一部分ノ説ヲ聽カレタノミデアハ一向參考ニナラヌ、ソレハ從來ノ經驗上カラ參考ニナラヌ、ソレデ是非其教育社會ノ全體ノ與論ヲ聞カレルト云フコトガ大事デアルト云フコトヲ縷々説明ヲ致シテ居ル、ソレカラ昨年ノ二月ニ政府ニ質問書ヲ當院ノ加藤君谷君カラ提出サレマシタ、其時ノ質問書ニモ明ニ其事ガ書イデアリマス、與論ヲ聞カナケレバナラヌト云フコトガ書イデアリマス、ソレデ其與論ヲ聞クニハ前日申述ベタダケノ組織ニナリマセヌケレバ與論ヲ聞クト云フコトハドウモ出來ナイ、出來ナイト云フノハ唯今ノ組織デアルト官立學校ノ學校長、其他ノ局長ガ十五人アル、其他學識經驗アル者ガ七人デア、ソレヲ私ハ人数ノ多少ヲ論ズルノデハナイ、ソレカラ又學校長デア、或ハ文部省ノ官吏デア、ソレカラ云フコトヲ論ズル譯デア、免ニ角教育社會ノ全體ノ説ト云フモノガ分ラナケレバ此會議ノ用ヲ成サヌト云フコトガ要點デア、ソレデ唯今ノ組織ニ依リマス、ト官立學校長ト云フモノガ唯アソコニ立ベテアルト云フダケノコトデア、張要素ガ缺ケテ居ル、即チ大切ナル師範學校、ソレカラ中學校等ノ議員ガ缺ケテ居ルト云フコトハ先達テモ申シタ、其點ニ附テハ今日文部大臣ヨリモ御説明ニナツテソレハドウモ缺ケテ居ル、併シ從來師範學校長中學校長ヲ會シテ其會議ヲ開イテ其説ヲ聞イテ居ルニ依ッテソレデ宜シト云フ御説デア、ソレガ甚ダ困ルノデア、從來文部省デハ師範學校長ヲ會サレタコトモアリ、中學校長ヲ會サレタコトモアルノデア、ケレドモソレハ中學校長ノミ、或ハ師範學校長ノミニ限ッテ居ッテ教育社會ノ全體ノコトヲ代表スル者ガ相集ッテ議スルト云フコトハ違フ、デハ教育社會全體ノ説ヲ聞クト云フコトニナツテ始テ效能ガアルノデ、唯一部分ノ人ヲ集メテサウシテ一部分ノ説ヲ聞イタノミデア、ハ效ヲ成サヌ、ソレハ從來ノ文部省ノ經驗上ニ於テ其事ハ明ナコトデア、ルノデア、ソレ故ニドウカスノ如キモノ、大要ヲ殘ラズ集メテサウシテ會議ヲ御開キニナルト云フコトヲ希望シタノデア、サウシテ吾々ガ希望スル如ク組織サレタナラバ非常ニ宏大ナモノデ際限ガナイト云フ御説デア、ソレ決シテ際限ガナイコトハナイ、前日申シタ如キ組織ニスレバ大抵是デ足リテ居ル、即チ人数ハタシカ四十二人ト心得テ居ル、四十二人ヲ以テ組織スレバ凡ソ組織ハ足リテ居ルノデア、是モ唯杜撰ノ取調デア、現ニ佛蘭西ニ行レテ居ル高等教育會議ノ例ガアツテ、是等ハ十數年來佛蘭西ニ於テ施行致シテ居ル、是等ノ取調ニ據レバ……是等ノ組織ニ據レバ佛蘭西デハタシカ六十人デア、六十人ヲ以テ組織シテアル、ソレハ佛蘭西ノハ餘程宏大デア、且ツ教育ノコトモ我邦ヨリハ進ンデ居ルカラソレ故ニ人数モ多クナツテ居ルノデ吾々ハ成ルベク實行ノ考ヲ以テサウシテ文部省ノ發布セラレタ規則モ成ルベク行レルヤウニ考ヘ、サウシテ精々人数ヲ少クシテ成ルベク規模ヲ小

サクシテドウカ政府デモ御同意ニナツテ實際ニ行レルヤウニ希望シタニ依ッテソレデ四十二人デ大概行ケルト云フコトヲ認メタノデ、決シテ杜撰ニ取調ベタモノデア、又彼ノ上ニ餘計加ヘルト云フコトノ必要モナイノデア、マス、ソレカラ今一ツハ學識經驗アル者ガ七人アルカラソレ等ノ説ヲ聞ケバ大概教育社會ノ與論ハ分カルト云フコトヲ云ハレルガ是ハ甚ダ感服致サナイ、吾々ガ考ヘル所デア、唯文部大臣ガ自分ノ選ニ依ッテ或ル人ヲ選バレタト云フナラバ成程蜂須賀文部大臣ガ公平著實ノ眼ヲ以テ良イ人ヲ選バレタナラバ七人デモ教育社會ノ與論ガ分ル人ヲ選バレルカモ知レナイ、或ル文部大臣ハサウハ行カナコトガアルカモ知レナイ、詰リ文部大臣ノ隨意ニ選ブト云フコトデア、アルナラバ或時ニハ宜イコトガアツテモ或時ニハ宜シカラザルコトガアルト云フコトハ明ナコトデア、アリマスカラ、ドウモサウ云フ議員ハ幾下當テニナラナイ、ソレデ私共ハ會議ノ規則ニ於テチヤント正確ニ定ッテ居ル者ヲ舉ゲテサウシテ會議規則ト云フモノデア、其人ヲ儘ニ得ラレルト云フコトヲ明ニシナケレバナラヌト思フノデア、ソレデ丁度此議院ニ居ラレル前田正名君ガ農商務省ノ高等農工商會議ノ出來タ時分ニ矢張其今文部大臣ノ御考ヤウナ譯デ農商務大臣ガ農工商ノコトニ經驗アル者ヲ選ンデ人選致シタコトガアル、所ガ前田正名君ハ其當選者ニナラレタ所ガソレヲ辭サレタ其辭サレタノハ如何ナル理由デア、アルカト云フト吾々一人デ自分ノ考ヲ以テ農商務大臣ノ諮詢ニ答ヘテモ效ガナイ、若シモ吾々ガ其或ル社會ノ代表者ニナツテサウシテ選バレタナラバ喜ンデ出ルデア、ソレハ云ハレタコトガアル、是ハ誠ニ我我ノ感服スル所デア、即チ教育高等會議或ハ高等農工商會議ノ議員ハ何レモ吾々ガ熱心ニ希望スル點ニ於テ期セズシテ同ジデア、農商ノ行政デモ教育ノ行政デモ同ジコトデア、前田正名君ノ議論ハ甚ダ感服スル、即チサウ云フコトデア、ナクテハ此會議ノ效ハナイモノデア、ソコガ又文部大臣ト吾々ト所見ヲ異ニシテ居ル所ノ點デア、ソレカラ文部大臣ハ現規則ニ依ッテ敢テ缺點ヲ見ナイト云フ御説デア、是ハ文部大臣御一人ノ話デ滿場ノ諸君ハ一人モアノ規則ヲ見テ満足デア、缺點ハ決シテナイト云フコトハ御認メニナツテハ居ナイト思ヒマス、凡ソ教育ノ社會政治ノ社會其他隨分廣ク私ハ意見ヲ承ツタノデア、アリマス、色々不完全ノ點ニ至ッテハ違ッテ居リマスガ免ニ角アノ會議デア、ハ爲サヌ、アノ會議ナラバ決シテ勅令ヲ以テ特ニ定メル必要ハナイ、文部大臣ガ隨時ニ學校長ヲ集メ學識經驗アル人ヲ賴ンデ會議スルコトガ出來ル、決シテ勅令ヲ以テ定メテモ殆ド效ハナイト云フコトハ誰一人考ヘテ居ラヌハナイ、ソレニ缺點ヲ見ヌト仰シヤルコトハ少シ失禮ナガラ文部大臣ガ一般ノ與論ヲ如何ニ御覽ニナツテ居ルカ、甚ダ疑ハシイ點デア、アリマス、マダ色々述ベタイ點モゴザイマスガ先ヅ大要ソナ次第デアリマスカラ、免ニ角最前申シタ通り文部大臣ハ議會並ニ教育社會ノ與論ヲ容レテ此會議ヲ設立ニナツタノデア、アルカ或ハ文部大臣ガ別ニ見ル所ガアツテ一般ノ希望ニ拘ラズ一己ノ所見ヲ以テ御設立ニナツタノデア、アルカ否ヤト云フコトヲ承リタイ、ソレニ依ッテ私共モ考ヘル所ガアルノデア、アリマスカラ共事ヲドウカ御答辯ヲ願ヒタイノデア、アリマス

○國務大臣(侯爵蜂須賀茂昭君演壇ニ登ル) 唯今久保田君ヨリ御質問ガゴザリマシタ

ガ、段々御述ベニナリマシタ所即チ御意見ハ本大臣ノ見ル所ト異ナル所デア
リマシテ本大臣ハ初ヨリ異ッテ居ルト云フコトヲ申シ又久保田君モ異ッテ居
ルト云フコトヲ述ベラレマシタノデアリマス、併シ其御意見ハ御意見トシテ
私ハ承ッテ置キマスガ今日ニ於テハ先刻モ申述ベマシタ通ノ組織ヲ以テ之ヲ
實行スル考デゴザンスルニ依ッテ、未ダ實施ニモ至ッテ居ラヌノデアリマシ
テ、實施ノ後ニ尙ホ不都合ヲ見レバ補正スルコトガアラウト云フコトハ先刻
モ申述ベマシタ通ノ次第デゴザイマス、左様御承知ヲ請ヒタイノデアリマ
ス、然ルニ唯今ノ御質問ノ要點ト云フモノハ兩議院ノ建議及教育社會ノ希望
ヲ容レテ高等教育會議ヲ起シタノデアルカ或ハ一己ノ意見デ斯ノ如キ會議ヲ
起シタノデアルカト云フノ御質問ニ過ギヌト存ジマス、ソレハ勿論兩議院ノ
建議モアリマシタコトデゴザンスルニ依ッテソレヲ容レテ即チ必要ヲ認メテ起
シマシタニ相違ゴザリマセヌ、サリナガラ其組織ニ至リマシテハ本大臣ノ見
ル所ヲ以テ組織ヲ致シタニ過ギマセヌノデゴザリマス、此段ヲ御答致シテ置
キマス

○議長(公露近衛篤磨君) 是ヨリ本日ノ議事ニ移リマス、男爵島津珍彦君請
暇ノ件、是ハ疾病ニ附テ三週間ト云フ願デアリマスガ御異議ガナケレバ許シ
マス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

次ハ古社寺保存法案第一讀會ノ續、特別委員長報告

(子爵曾我祐準君演壇ニ登ル)

○子爵曾我祐準君 此議案ハ餘程以前本院ニ提出セラレタノデアリマシテ、
タシカ一月ノ十九日頃委員ニモ託セラレマシタガ其後長イ休會モゴザイマシ
タシ又此案モ隨分込入ッタ案デゴザイマシタメ非常ニ調査ガ手間取リマシ
テ漸ク今日此議場ニ出テ本議ニ掛カルヤウナ次第デアリマシテ、敢テ委員共
ガ怠ッタ譯デモアリマセヌガ色々支ヘノタメニ斯ノ如キ暇ガ要リマシタ、デ
此議案ハ餘程面倒ナ議案デゴザイマシテ種々ナコトニ互ッテ決シテ簡單ナ案
デハナイ、ソレ故ニ委員ニ於キマシテハ更ニ委員ヲ選ビマシテ……委員中ヨ
リ兩人ノ委員ニ更ニ託シマシテ此案ノ修正ニ著手ヲ致シマシタノデアリマ
ス、其兩人ノ委員ハ政府委員ト度々會サレマシテ諸君ノ御手許ニアル如ク眞
赤ニナッタイヤウニ殆ド修正ト言ハウカ改正ト言ハウカ原文ハ半モ殘ラヌヤウ
ナ大修正ヲ加ヘタト云フ次第デアリマス、ソレデ此修正ノ理由竝ニ或ハ修正
デナクテモ條ヲ置キ換ヘタリシタ次第ニ附キマシテハ委員中ノ兩人即チ唯今
申シマシタ富井君ト平山君デアリマシテ兩君カラ辯ゼラレマス譯デアリマ
ス、本員ハ唯委員ノ經過ノ次第ヲ御斷リ申シテ置キマス、尙ホ御斷リシテ置
キマスガ此修正ノ第十六條ニ金高ノコトガ加ヘテアリマス、總テノ廉ニ於テ
ハ政府ハ同意ヲ致シマシタ、併ナガラ此一箇條ニ於テハ同意トハ申サレヌノ
デアリマス、全體此案ナドハ甚ダ本員等ニハ不適當ナ案デゴザイマシテドウ
云フ間違カ議長ハ斯ンナモノヲ託サレマシタ上ニ委員諸君ガ私ヲ委員長ニサ
レテ甚ダ迷惑致シマシタ、此說明ハ富井君ト平山君トデ御引受ニナッテ居リ
マスカラ、アノ方ニ御質問ヲ願ヒマス

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 此唯今提出ニナリマシタ古社寺保存法案デ

アリマスルガ、他ノ點ニ附キマシテハ勿論私ヨリ彼是レ申上ゲルコトハアリ
マセヌガ、唯今委員長ガ御報告ニナッタ上ハ條ノ點デゴザイマス、此金高ヲ限
ラレタト云フコトハ實際出來マセヌコトデアリマシテ此法案ニハ施行期限モ
三十一年度トモ三十二年度トモナイノデアリマスカラ是ガ出マシタナラバ法
令ノ手續ニ依ッテ行レル譯デアリマスカラ必ズ三十一年度ニハ此事ヲシタク
バナラヌト云フ結果ニ至ルノデアリマス然ルニ御承知ノ通ニ三十一年度ノ豫
算ト云フモノハ最早歲出入ノ間ヲ比較致シマスルト厘毛モ其上ニ餘裕ハナイ
ト云フコトデアリマスルカラドウモ三十一年度ニ十五萬圓乃至二十萬圓ト云
フモノヲ追加豫算トシテ出スト云フコトハドウシテモ歳入ガアリマセヌカ
ラ出來マセヌデゴザイマスカラ此條ハ既ニ委員長モ御報告ニナッタイヤウニ御
同意トハ最初カラ申サヌデアリマスカラソノ邊ヲドウシテ熟慮下サレマシテ先
ヅ茲デハ御削除ニナランコトヲ希望致シマスノデゴザイマスガ何分是ガ此儘
ニ通りマスルト始末ヲ著ケマスニハドウシテモ追加豫算トシテ請求致サネバ
ナリマセヌデ、サスレバ三十一年度ニハ財源ト云フモノガナイデアリマスカ
ラ已ムヲ得ズ之ニハ反對ヲ致シマスルヨリ外致シ方ガアリマセヌカラ彼是御
酌量ノ上デ相當ノ御決議アラント希望スル譯デゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 サウスルト全體ノ事ハ大藏省デ御贊成デアアルガ保存ト云
フコトハ附イテ金ヲ出スト云フコトハ困ル十五萬圓デナクッテモ金ヲ出スト
云フコトハ困ルト斯ウ云フノデアリマス

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 相當ナコトハ内務省ノ今年ノ豫算ノ上ニ五
萬圓ト云フモノガ積ッテアリマス、其上ニハ唯今申上ゲタヤウニ三十一年度

(子爵曾我祐準君「三十年度ダラウ」ト述フ)

三十年度ノ唯今御手許ニ上ガッテ居ル豫算案ニハ最早厘毛ノ餘地ハアリマセ
ヌデゴザイマスカラ之ヲ出スコトハ出來ヌト斯ウ云フ簡單ナ意味デアリマ
ス

○子爵板倉勝達君 チョット此特別委員ノ平山サンカラ御答ニナルト云フコ
トデアリマスガ此十六條ノ所ヘ更ニ金圓ヲ御舉ゲニナッタ所ノ理由ヲ一ツ聞
キタイ、政府ニ於テハ金ハ一文モナイト云フ、其ナイモノヲ出セト云フノハ
無理ナヤウナ譯デアアルガ併ナガラ金ガナケレバ又此骨子ガ立たヌト云フ理由
ガ又アラウカト思フ其理由ヲ御説明アラント希望シマス

○平山成信君 今此委員ノ入レマシタ十六條ノコトニ附テ板倉サンカラノ御
質問デゴザイマスガ委員會デ之ヲ加ヘマシタ理由ヲ一應申上ゲテ置キマス、
一體古社寺保存費ト申スモノハ諸君モ御承知ノ通ズツト一番前ニハ一萬圓、
ソレカラ二萬圓トナリ二十九年度カラ五萬圓ニナリマシタ、併ナガラ五萬
圓位ノ金デハ此事ハ十分ニイカヌト云フコトハ私ノ申上ゲルマデモナク諸君
ハ御了解ノコト、存ジマス、況ヤ政府ノ提出案ニ據ルト是マデノ古社寺保存
ノ外ニ寶物ノ中デ最モ有益ナモノハ博物館ニ義務トシテ出陳サセル、サウシ
テ出陳シタル社寺ニハ補助金ト云フモノヲ支給スルト云フヤウナ箇條ガゴザ
イマス、然ラバ法案ノ上デ見マシテモ失費ノ増スト云フコトハ明ニ分リ切ッテ
居ル、即チ補助金ト云フモノガ出來タ以上ハ保存費ト云フモノガ増サナケレ
バナラヌト云フコトハ言フマデモナイ、明ナコトデアリマス、而シテ此案ノ

第一讀會ノ初ニ於テドナタゴザイマシタカ三崎政府委員ニドノ位金ガアレ
バ宜イカト云フ御尋ニ對シテ二十萬圓欲シイト云フヤウナ御答ガアツタ故ニ
内務省ニ於テハ二十萬圓位望シテ居ル、併ナガラ今田尻政府委員ヨリ述ベラ
レテ居ル通實ニ國費多端ノ折デアリマス、委員會ニ於キマシテハ二十萬圓
ト極メズニコレヲ斟酌シテ五萬圓減ラシテ十五萬圓デモ濟ムヤウニ致シテ十
五萬圓乃至二十萬圓ト致シタノデアリマス、ソレデ此案ガ出レバ金ガ増スト
云フコトハ當然起ルコトデアリマシテ此案ヲ出シテ置キナガラ少シモ金ヲ出
セスト云フコトヲ政府委員カラ承ルノハ甚ダ了解致シ兼ネマス、三十年度ニ
於テ金ガナイト言ハレルガ誠ニ僅々ナコトデ此位ノ金ガ融通ノ附カスト云コ
トハ決シテナイト信ジマス、ソレ故ニ委員會デハ唯今申シマシタ通政
府委員ノ請求ニ依ッテ其都合ヲ計ッテ一步譲ッテ十五萬圓トシタ譯デアリマ
スカラ此案ガ可決シマシタ以上ハ法律ノ結果トシテ政府ニ於テハ豫算ヲ出シ
テ其手續ヲ御附ケニナルデアラウト思ヒマス、一應委員ノ修正シマシタ理
由ヲ述ベテ御諸君ノ御贊成アラントコトヲ豫メ希望シテ置キマス

○男爵伊達宗敦君 此事ハ全體第一讀會ノ初ニ御尋スベキコトデアリマスガ
其當時ハ私ハ案モ能ク見テ居リマセマデ……此案ノ中ニ國寶——國寶ト云
フコトガアリマスガ誠ニ私共ニハ分リマセマ、全體ドウ云フ物ガ國ノ寶ト爲
ルモノデアリマス、カ内務次官モ御出ニナツテ居リマス、カ願クハ次官ヨリ私
ノヤウナ愚鈍ナ者ニモ能ク分ルヤウニ簡單デナク能ク分ルヤウニ説明ヲ願
ヒタイ、イツデモアナタノハ簡單デ分リマセマスカラ……

〔政府委員中村元雄君演壇ニ登ル〕

○政府委員(中村元雄君) 唯今御問ノゴザイマシタ此保存中ノ國寶ノ資格
ルモノト、是ハ此保存致シマスル物ノ中ニモ建造物デアリマス、別シテ其
建造ノ優レタルモノ、又其他ノ寶物類デゴザイマス、別シテ貴キモノヲ以
テ寶物ト定メマス、ソレデゴザイマス、細カナコトヲ答ヘロト仰セラレマシ
タガ是ハ其物ニ當リマシテ能ク定メマスルコトデゴザイマス、カ私ガ茲デ鑑
定家デゴザイマセマスカラサウ細カナコトハナカ……ドウカソレダケノコ
トハ御免ヲ願ヒマス、ソレデ又私ノ答ガ簡單デ分ラスト仰セラレマスナラバ
尙ホドウカ御問ヲ……

○男爵伊達宗敦君 モウ一遍伺ヒマセウ、アナタガ御鑑定家デナイト云フコ
トハ私モ能ク知ッテ居リマス、鑑定ハ御出來ニナルマイト思ヒマス、ソレデ
寶物トアリマスガ總テ古ノ寺デアルトカ或ハ社トカニアル寶物ガ即チ國寶ニ
ナル、直ニ國ノ寶ニナル一國ノ寶ニナルト云フコトハオカシイ、ソコガドウ
モ私ニハ分ラナイ

○政府委員(中村元雄君) 是ハソノ或ハ彫刻ノ優秀ナルモノソレカラ又繪畫
ノ如キモノデゴザイマシテモ殊ニ優レタルモノデ實ニ稀ナル物ヲ以テ國寶ト
致シマス、古ノ寺ニ在ル寶物ヲ悉ク國寶ト致シマス、譯デハゴザイマセマ
ラドウカ左様……

○子爵曾我祐準君 私ハ委員長デアリマシテ職務ヲ盡スコトガ出來
ヌノハ甚ダ残念デアリマスガ先刻御斷リ申シテ置キマシタ通富井君ト平山君
ノ御兩君ガ重ニ御審査ニナツテ居リマス、カラドウカ御兩君ノ中デ十分御説明
下サレテ殊ニ伊達君ナドニ満足サセルダケノ御答ヲ致シテ貰ヒタイト思ヒマ

スカラ兩君ノ中御一人ドウゾ御演壇ニ御出アラントコトヲ希望致シマス

〔富井政章君演壇ニ登ル〕

○富井政章君 御質問ヲ俟ッテ御答致シマシテモ宜シウゴザイマス、ガ委員
會ニ於テ吾々兩人即チ平山君ト本員ガ此朱書ノ通ニ修正案ヲ提出致シマシ
理由ヲ簡單ニ申上ゲヤウト思ヒマス、ソレトモ諸君ニ於キマシテ質問ヲ俟ッ
テ述ベテ宜イト云フコトデアリマス、レバ差控ヘマス、孰デモ宜ウゴザイマ
ス

○子爵曾我祐準君 一通御説明ヲ願ヒタウゴザイマス、委員長トシテ本員
ガスベキモノデアリマシタガソレヲ略シマシタカラ、願ヒタウゴザイマス

○富井政章君 ソレデハ成ルベク簡單ニ申上ゲマス、第二條ニ於キマシテ
「由緒ノ特殊」ト云フコトヲ「製作ノ優秀」ト云フ言葉ノ上ニ置キマシタノハ
是ハ唯文字ヲ置換ヘタダケデ「歴史ノ證據」ニ近イデアリマス、カ順序
ガ斯ウナル方ガ宜カラウト考ヘタダケノコトデアリマス、ソレカラ「古社
寺保存會ニ諮詢シテ」ト云フ言葉ヲ加ヘマシタ譯ハ此歴史ノ證據トカ由緒ノ
特殊トカ製作ノ優秀トカ云フコトヲ鑑定スルノハ全ク専門的ノコトデアリマ
シテ内務大臣ガ參事官ヤ書記官ヲ集メテ議セラレタ所ガ斯ウ云フコトノ分
コトデナイ、是ハ既ニ議院ノ建議ヲ容レテ古社寺保存會ヲ組織セラレタ今日ニ
於キマシテハ此會ノ意見ヲ聞イテ内務大臣ガ定メラル、ト云フコトガ最ニ當
ナコト、考ヘマシタノデアリマス、第三條ニ於キマシテ「建造物云々」ト

アリマス、カハドウ云フ建造物ガ餘リ突出デアリマス、カ「前條」ト云フ
コトヲ加ヘマシタ、サウシテ「地方長官之ヲ指揮監督ス」ト改メマシタ譯ハ地方長官ガ管
理スルト書キマシテハ全ク官ノ工事ノヤウニナツテシマス、ソレハ性
質上サウキツパリ極メルト云フコトハ甚ダ穩デナイト考ヘマシテ「指揮監督
ス」ト致シマシテ内務大臣ガ監督スルト云フコトハ是ハ言ハナクモ一般ノ
行政ノ制規ニ依ッテ當然此通ナルデアリマス、第四條ハ最モ大ナル修正デア
リマシテ是ハ第五條ト牽聯シテ御覽ヲ願ハシナラヌ箇條デアリマス、原案
ニ據レバ寶物類ニ附テハ保存金ヲ下附シタルト否トヲ問ハズ汎ク社寺ニ屬ス
ル寶物類ニシテ第四條ノ條件ヲ具ヘタルモノハ國寶ト爲スコトガ出來ルトア
リマシテ建造物ニ附テハ第五條ニ於テ國費ヲ以テ補助修理シタルモノ、中
内務大臣ガ極メテソレヲ賣ッたり贈與シたり質入レタルモノトガ出來ナ
イト云フコトニナツテ居リマス、併ナガラ此區別ハ甚ダ理由ノナイ區別デア
リマシテ建造物ト寶物トノ間ニ斯ウ云フ差別ヲ立テタルト云フコトハドウモ了
解ガ出來ナイコトデアリマス、建造物ノ中ニモ特ニ歴史ノ證據又ハ美術ノ
模範ト爲ルベキモノガアリ得ルンデアリマス、サウ云フモノハ矢張濫ニ賣ッ
タリ人ニ贈與シタリ勝手ニ處分スルコトハ出來ナイト云フコトニセバ此法
案ノ貴重ナル品物ヲ永久ニ保存シヤウト云フ目的ガ實カナイト考ヘルンデア
リマス、是ハ金ニハ關係ノナイコトデアリマス、保存金ヲ下付スルト下付シ
ナイトニハ關係ノナイコトデ金ガ十分ニナケレバ出サナケレバ宜イノデアリ
マス、ソレ故ニ廣ク「社寺ノ建造物及寶物類」ト致シタノデアリマス、製作
ノ優秀ニ由リ國家ノ光輝トナルヘキモノハ「トアリマシタガ是ハ餘リ言葉ガ
冗長デアリマシテサウシデ「國家ノ光輝」ト云フ言葉モ少シ大キ過ルト云フ

ヤウヲ説モアツタノデアリマスカラ是ハ詰リ「美術ノ模範」ト云フコトニ歸スルコト、思ヒマシテ斯ノ如クニ改メタノデアリマス。「古社寺保存會ニ諮詢シ」ト云フ言葉ヲ加ヘマシタノハ第二條ト同ジコトデアリマス、斯ノ如クニ第四條ニ建造物ヲ入レマシタ以上ハ建造物ニ附テモ何カ簡明ナ言葉ヲ拵ヘルコトガ後ノ條ヲ定メ或ハ又はカラ此法律ヲ實行スル上ニ當ツテ便利デアラウト考ヘマシテ此處デソノ少シ讀惡イ字デアリマスルケレドモ特別保護建造物ト云フ言葉ヲ拵ヘマシテサウシテ「特別保護建造物云云」ト致シタノデアリマス、是ハ委員會ノ責任デアリマス、唯今國寶ノ御言葉ニ附テ御質問ガ出マシタカラ序ニチヨット本員ノ意見ヲ申シテ置キマス、是ハ唯言葉ノコトデアリマスルカラ本員ハ就ニナツテモ構ハナイト思フンデアリマス、何カ今少シ使イ宜イ言葉ガアツテアレデズト後ノ條モ書イテ行クコトガ出來レバソレデモ宜イト考ヘタノデアリマスルケレドモ、ドウモ簡明ニシテ便利ナ言葉ヲ發見致セナシタガタメニ先ヅ原案ニ從ツタノデアリマス、此言葉ハ少シ過大ナヤウデアリマスルケレドモ是マデノ用例ハ極ツテ居リマセズシテ或ハ三種ノ神器トカ云フヤウナ狹イ意味ニモ使ツテ居リマス、或ハ極テ廣イ意味ニモ使ツテ居リマス、詰リ使用ノ區域ガ極ツテ居リマセヌカラ別ニ害モナカラウト考ヘマシテ先ヅ此儘ニ致シテ置イタノデゴザイマス、併シ唯今申シマシタ通ニ是ハ唯言葉ノコトデアリマスルカラ本員ノ如キハ格別重キヲ置カナノデアリマス、茲ニ朱ノ第二項ヲ加ヘマシタ譯ハ次ノ條ニ於テ是等ノ品物ト云フモノハ殆ド法律ニ謂フ所ノ不融通物ニナツテシマフノデアリマス、即チ買ツテモ無効デアアル、賣ツテモ無効デアアル、質ニ取ツテモ無効デアアルト云フヤウナコトデアリマスルカラ此世間一般ノモノデス即チ第三者ニ取ツテ極テ重大ナ結果ヲ生ズルコトデアリマスルカラ彼世襲財産ノ如クニ官報ヲ以テ豫メ之ヲ告示スルコト云フコトガ極テ必要デアラウト考ヘマシテ此箇條ヲ置イタ、第五條ニ「此國費ヲ以テ」云々トアリマシタノヲ「特別保護建造物」ト致シマシタ譯ハ即チ第四條ノ修正ノ結果ニ過ギナイノデアリマス、即チ國費ヲ以テ補助修理シタルト否トヲ問ハナイト云フコトデアリマス、實際ハ其範圍ニナルデアラウト思ヒマスルケレドモ法律ニサウ範圍ヲ極メテシマフト云フコトハ正シクナイト考ヘマシタ、ソレカラ「賣買贈與交換シ及債務ノ擔保ニ供シ」ト列記法ヲ用ヒテ處分ヲ禁ジテアリマシタケレドモ斯ウ云フ書キ方デハ澤山洩レモノガ出來マス、即チ勝手ニ人ガ貸シテモ宜イカ、永ク人ニ預ケテモ構ハナイカ、其他會社組合ノ資本ニ用ヒテモ構ハヌカ、或ハ此金ヲ拂フ代リニ代物辨償ト稱シテ品物ヲ以テ辨償ニ充ツルコトモ出來ヤウカ、文字カラ言ヘバサウ云フモノハ皆洩レルコトニナリマス、ソレ故ニ此包括的ニ廣イ處分ト云フ言葉ヲ用ヒテ唯今ノヤウナ缺點ノナイコトニシタガ宣カラウト考ヘタノデアリマス、此處分ト云フ言葉ハ新民法ナドニ於キマシテハ廣イ意味ニ使ツテアリマス、サウ致シマスト是等ノ品物ハ市ノ博覽會ニ出スコトガ出來ナイト云フ疑問ガ生ジマシテ文字カラ言ヘバ出來ナイト云フコトニナリマス、ソレデハ不便デアラウト思ヒマシテ其但書ヲ加ヘテ內務大臣ノ許可ヲ得テ公開ノ展覽場へ出陳スルコトガ出來ルト云フコトニ致シマシタ、第二項ヲ刪除致シマシタ譯ハ既ニ第一項ニ於テ「處分シ又ハ差押フルコトヲ得ス」ト禁止的ニ明ニ書イタ以上ハ無効デアアル、其規定ニ反シ

テ爲シタ處分ハ無効デアルト云フコトハ言ハズトモ分リ切ツタコトデアリマス、且ツ此契約ト申ス言葉ハ誠ニ狹キニ失シテ唯今例ニ舉ゲマシタ代物辨償ノ如キハ決シテ契約デアリマセヌ、一方行爲デアアル、ソレ故ニ旁、此第二項ハ刪除スルコトガ肝要デアルト思ヒマシタ、第六條ノ修正ハ社寺ナゾハ隨分隔ツタ所ニ同ジ管轄ノ社寺ガアリマシテ其監守ト云フコトハ場合ニ因テハ別々ニ人ヲ置イテセネバ不便デアラウト云フコトハ神職又ハ住職ノ代理者ガ必シモヤルト云フコトニシテハ隨分困ル場合ガアラウト云フコトデハ矢張內務大臣ノ許可ヲ經テ別ナ監守者ヲ置イテサウシテ此法律ニ定ムル所ノ責任ハ其監守者ニ負ハスト云フコトニセネバ誠ニ區域ガ廣クテ澤山社寺ガアルト云フ場合ニハ隨分不便デアラウト考ヘマシテ第二項ヲ削ツテ此但書ヲ加ヘタノデアリマス、第三項ヲ削リマシタ譯ハ是ハ全ク一般ノ行政ノ制度ニ任カシテ置イテ宜イコトトデ通常ハ博物館長ガ監守スルンデアリマセウケレドモ或ハ此行政上ノ規則ニ因テハ物品會計官吏トカ云フヤウナモノガアリマシテ必ズシモ其博物館長ガ監守スルコト云フヤウナコトニナラナイ場合モアラウト思ヒマス、通常ハ默ツテ居ツテモ博物館長ガ監守スルコト云フコトニナルノハ疑フコト考ヘマス、此法律ト云フモノハ社寺ト國庫トノ關係ヲ極メテアルツレデ其關係以外ノ行政ニ關スルコトハ成ルタケ省イテ此法律ニ極メナイト云フコトガ宜シカラウト存ズルンデアリマス、第七條ニ單ニ「博物館」トアリマシタノヲ「帝室官立又ハ公立ノ博物館」ト改メマシタ、是ハ其唯博物館トアツテハドウ云フ博物館デアアルカ能ク分ラナイ、私立ノ博物館モ籠ルト云フコトニナリマスルガドウモウレマデ廣クシテハ宜クナカラウ、帝室官立公立博物館ニ止メルノガ至當デアラウト云フ理由デ斯ウ云フ風ニ範圍ヲ極メタノデアリマス、帝室ノ博物館ハ矢張官立ノ博物館デアツテ別ニ帝室ト云フ言葉ヲ置カナクテモ宜シカラウト考ヘマシタ、本員ノ如キハナクテ宜カラウト思ヒマスルケレドモ少シ疑義モアリマシタニ依ツテ大丈夫ヲ蹈ンデ入レタ位ノコトデアリマス、本員ハ官立ノ博物館ノ一種デアラウト思フノデアリマス、ソレ故ニ「帝室又ハ」ト云フ言葉ヲ……帝室ト云フ言葉ヲ取ツテシマツテ差支ハナカラウト考ヘマス、ソレハ全ク諸君ノ御意見次第デアリマス、茲ニ但書ヲ置キマシタ譯ハ政府委員ニ質問致シマシタニ祭典法用ニ必要ナルモノハ取上グルモノデアアルカ例ヘバ安置本尊ノヤウナモノマデモ取上グルノデアアルカト云フコトヲ問ヒマシタ所ガサウ云フ趣意デハナイ、サウ云フモノハ出陳セシメナイト云フコトハ命令デ極メテ積デアルト云フ御答デアリマシタ、併ナガラ又出陳ノ義務ノ範圍ニ關スルコトハ命令ニ依ラズシテ明ニ此法律ニ極メテ置ク方ガ至當デアルト云フ理由デ茲ニ但書ヲ置イタノデアリマス、ソレカラ內務大臣ガ若シ不當ナ命令ヲ下シタトキハ訴願ガ出來ルカ出來ヌカ、即チ例ヘバ祭典法用ニ必要ナ品物ヲ出陳セヨト云フ命令ヲ下シタ場合ニ訴願ガ出來ルノデアアルカ否ヤト云フ問ヒガ第一讀會ノ始ニ此議場ニ於テモ出マシタガ政府ハ訴願ヲ許ス積デソレハ行政命令デ極メテ積デアルト云フ御答デアリマシタケレドモ斯ノ如キ謂ハハ上訴ノ權ニ關スル如キ重大ナコトハ法律ニ極メテ置イタ方ガ穩デアラウト思フノデ此第二項ヲ置クコトニナリマシタ、斯ノ通ナリマスルコト此第七條ガ餘リ長クナリマスニ依ツテ元ノ第三

項ヲ別條ニ致シマシテ此條ノ修正ハ國庫ヨリ補給金ヲ支給スルト云フコトデア
アリマシタガ其補給金ト云フモノハドウ云フ風ニシテ極メルノデアアルカ一向
分ヲナイ、政府委員ニ質問致シタニソレハ命令デ極メル積デアル、既ニ其命
令案モ出來テ居ッテ誠ニ精密ナル調査ノ方法ヲ立テ一等二等三等四等ト云フ
風ニ分ケテサウシテ補給金ヲ支拂フ積デアルト斯ウ云フ御答デアリマシタ、
サウシテ見レバ何カ少シ茲ニサウ云フ主意ヲ示シテ置クコトハ必要デアラウ
ト云フ考デ「命令ニ定メタル標準ニ從ヒ」ト云フ言葉ヲ加ヘタノデアアリ
マス、第九條ノ修正ハ先刻述べマシタ第六條ノ修正ノ結果ニ過ギナイノデアア
リマス、第十條ノ此「保管ス」ト云フ言葉ヲ「管理ス」ト改メマシタ譯ハ保管ス
ト云フコトニナリマシテハ此保管金ト云フモノガ行政法ニ云フ所ノ保管金ニ
ナクテシマヒマシテ是非トモ預金局ヘ預ケネバナラヌコトニナル、ソレデハ
不便デアリマセウト考ヘマスノデ少シ漠然デアアリマスケレドモ唯保管ト云
フコトヲ避クルタメニ管理スト改メタ、第十條ヲ削リマシタ趣意ハ是ハ會計
法ニ關シテ居ルノデ會計法ノ第十二條第二項ニ「國務大臣ハ其所管ニ屬スル
收入ヲ國庫ニ納ムヘシ直ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス」トアルソレ故ニ斯ウ云
フ場合ハ即チ前條ノ但書ニ依ッテ剩餘ノアツタ場合ニ還付セシメタトキハソ
レヲバ外ノ建造物又ハ實物類ニ使フコトハ會計法ニ於テ出來ナイノデア
アリマス、是ハ其國庫ニ返サネバナラヌト云フコトニナリテ居ル、ソレデ此
會計法ノ規定ニ反シテ斯ノ如キ特例ヲ設クル理由ハ全クナイト考ヘマシテ是
モ削ラレタノデアアリマス、ソレカラ第十二條モ會計法ノ規定ニ戻ッテ居リマ
ス、是ハ其會計法ノ第二十一條ニ或ル事柄ヲ限ッテ翌年度ニ繰越スコトガ出
來ルト云フコトニナリテ居リマス、全ク特別ノ規定デアリマシテ其場合モ適
用ノ範圍モ極メテ居ル、然ルニ此條ニ於テ社寺ノ保存費ニ限ッテ斯ノ如ク何
時マデモ繰越シテ使用スルコトガ出來ルト云フコトニナルノハ甚ダ理由ノナ
イコト、考ヘマシテ是モ削ルコトヲ主張致シタノデアアリマス、第十二條ノ修
正ハ前ノ刪除ノ結果デアリマス、第十三條ノ修正ハ是ハ少シ會計法ニ關係ヲ
持ッタ煩シイ修正デアリマス、ソレデ是ニ「毀棄シ」ト云フ言葉ヲ加ヘマシ
タノハ是ハ第一讀會ノ始メニ名村君カラ御注意ガアリマシタ通曉案シト云フ
コトヲ加ヘマセヌト少シ不權衡ニナリマス、其譯ハ故意デナイ怠慢ニ依ッ
テ實ヲ亡失シタ場合ニハ刑法上ノ刑罰デアアリマセヌケレドモ五十圓以上
五百圓以下ノ過料ヲ科シテアルノニ茲ニ毀棄シタト云フ場合即チ一層情
ノ重イ場合ニハ刑法ニ據レバ却ッテ僅ノ罰金デ済マシ得ルコトニナリマ
ス、ソレハ甚ダ不權衡デアリマシテ國寶ニ附イテハ通常ヨリモ刑ヲ重ク
見ルト云フ本案ノ目的ニ反スルト考ヘマシタ「隱匿シ」ヲ加ヘマシタ理
由ハ是ハ隨分實際ニ數ハアルコトノヤウデアリマス、隱匿ハ多クハ竊取
ニナラウト思ヒマスケレドモ斯ウ云フコトハ數ハアル弊害ト申スコトデ
アリマスカラ矢張明ニ書イテ置イタ方ガ宜カラウト考ヘマシタ「輕微役」
ヲ「二年以上五年以下ノ重禁錮」ト改メマシタ是ハ輕微役デハ如何ニモ重キ
ニ失スルデアラウ、官吏デアレバ既ニ刑法ニ於テ輕微役ニ處シテアル、其他
ノ監守者デアレバ輕微役即チ重罪ノ刑ニ處スルノハ餘リ飛過ギデアリマスニ
依ッテ此重禁錮ノ重イ所ヲ科スル位ガ相當デアラウト考ヘマス、「監守者ニ
アラスト雖モ其共犯者亦同シ」ト云フコトヲ削リマシタ譯ハ是ハ監守者デナ

イ者ニ附テ本條ヲ當筈メルマデノ必要モナイ是モ第一讀會ノ始メニ村田君カラ
御注意ノアツタコトデアリマシテ、普通ノ原則ニ依ッテ差支ナイモノト考ヘテ
削ルコトニ致シマシタ、第二項ノ「買受ケ」ハ自ラ「讓受ケ」ト云フモノ、
中ニ這入ッテ居リマスカラ削リマシタ「借受ケ」ハ是ガナイト一ノ缺點トナ
リマスニ依ッテ加ヘマシタ「質取リ」ダケデハ抵當ガ漏レマスニ依ッテ「擔
保ニ取リ」ト改メマシタ、ソレカラ「刑法第三百九十九條ノ例ニ依リ處斷
ス」ト云フコトヲ「六月以上三年以下ノ重禁錮云々」ト改メマシタ譯ハ第一項
トノ權衡ヲ取ツタノデアリマス、此第一項ガ通常ノ場合ヨリモ聊カ刑ヲ重クシ
テアリマスノデ此第二項ニ於テモ僅デモ通常ノ場合ヨリモ刑ヲ重クシタ方ガ
權衡ヲ得ルデアラウト考ヘマシタノデ刑法第三百九十九條ヨリモ少シ刑ヲ重
クシタノデアリマス、ソレカラ第十四條ニ於キマシテ「第五條ニ依リ內務大
臣ノ指定シタル建造物ヲ燒失シ」ト云フコトヲ削リマシタ譯ハ是ハ少シ刑ハ輕
クナリマスルケレドモ刑法ニ失火罪ト云フモノヲ認メテアル、サウシテ罰金
ヲ科シテアリマスル、サウシテ見レバ刑法ニ依ッテ罰金モ科セラレ又本條ニ
依ッテ是ダケノ過料ヲ科セラル、ト云フコトハ理窟ニ於テハ構ハナイコトデ
アリマスルケレドモ少シ重キニ失スルカト云フ感シモアリマシテ其ヤウニ重
複サス必要ガナイト考ヘタノデアリマス、ソレ故ニ刑法ノ規定ニ依ルト云フ
理由デ是ダケハ削リマシタ、ソレカラ原案ニ據レバ此過料ト云フモノハ民事
罰デアアルカ行政罰デアアルカト云フコトガハッキリ極マッテ居リマセナシ、此
國稅意納處分法ニ依ッテ徵收スルタル以上ハ行政罰ト云フ趣意デアラウト
考ヘマシタ、併ナガラ近來此民法並ニ商法等ニ於キマシテハ刑法ノ過料デナ
イ過料ハ民事罰トスルト云フコトニ追ミナッテ來テ居リマスルカラ其通致シ
タ方ガ即時抗告ヲ許シマスニ依ッテ萬一過料ノ宣告ガ不當デアル場合ニハ上
訴ノ道ガ開ケテ居ルヤウナモノデアアル……「マ」不完全ナ上訴デアリマスルケ
レドモ行政過料ノ場合ト違ッテドンナ宣告ガアツテモ仕方ガナイト云フコト
ニハナラナイ、ソレ故ニ是ハ近頃ノ例ニ倣ッテ民事罰ト改メマシタ、サウシテ
即時抗告ヲ許スコトニ致シタ、サウシテシマスト或ハ實際ニ困ルコトガナカラ
ウカト考ヘマシテ此第三項ヲ入レマシタ、是ハ丁度產業組合法案ニ斯ウ云フ
規定ガアリマシテ誠ニ至當ナ規定ト考ヘマシテ置クコトニ致シタ、第十五條
ノ修正ハ少シ重大ナ修正デアリマス、原案ニ據レバ博物館ノ監守者ガ故意又
ハ怠慢ニ由リテ國寶ヲ亡失又ハ毀損シタ場合ニ於キマシテハ先ヅ私財ヲ以テ
其損害ヲ賠償セネバナラヌ、サウシテ身代限マデ往ッテ拂ヘナイト云フ場合
ニ國庫ガ償フコト云フコトニナリテ居リマス、所ガ是ハ第七條ニ據レバ內務大
臣ノ命令ニ依ッテ博物館ニ出陳スルコトニナリタノデアリマス、內務大臣ノ命
令ノ結果デアアル、サウシテ見レバ被害者ニ對シテハ直接ニ國庫ガ賠償ノ責ニ
任スルトスル方ガ適當デアラウト考ヘタノデアリマス、尤モ其監守者ト國庫
トノ間ニハ保證金ヲ失フコトカ種々物品會計規則ナドニ依ッテ責任ノアルコト
ニナルノデアリマスルケレドモソレハ通常ノ行政規則ニ依リコトデアツテ本
案ハイツモ國寶ト社寺トノ關係ヲ極メテアル、內務大臣ノ命令ノ結果デア
シタノデアレバ被害者ニ對スル直接ノ責任ハ國庫ガ負擔スルノガ至當デア
ラウト考ヘマシテ是ダケノ言葉ヲ削リマシタ、國庫ハ賠償ヲドウ云フ風ニス
ト云フコトハ此案デハ極メテナイ、一圓カ十圓拂ッテ済ムヤウニモ讀メルノ

デアリマスケレドモ決シテサウ云フ趣意デハナイト云フコトデアリマス、ソレハ命令ニ鑑定人ニナル人其他評價ノ方法ヲ極メルト云フコトデアリマス、サウシテ見レバソレダケノ擔保保證ガアルト云フコトヲ此法律ニ示シテ置イタ方ガ宜カラウト云フ考デ「國庫ハ命令ニ定メタル評價ノ方法ニ從ヒ其損害ヲ賠償スルモノトス」ト致シタ、唯サウ云フ風ニ鄭重ナ手續ヲ經テ極メタ評價ノ額ニ對シテ裁判所ニ出訴スルコトガ出來テハ甚ダ不都合デアラウト考ヘマシテ其點ニ於テハ矢張「出訴スルコトヲ得ス」ト云フ規定ヲ存シテ、ソレハ唯其評價ノ額ニ就テ出訴ガ出來ナイト云フ意味ヲ明ニシタデアリマス、第十六條ニ就テハ先刻平山君カラ詳細ニ説明セラレマシタニ依ッテ私カラハモウ申上ゲマセヌ、唯一言附加ヘテ置キタイコトハ政府委員ハ三十年度ニハ少シノ金モナイト云フコトデアリマスガ此施行期日ト云フモノハ第二十二條ニ據レバ命令ヲ以テ定ムルコトニナツテ居ルデアリマス、ソレ故ニ縱令此三十年度カラ執行スルコトニシテモ何レ其年度ノ中途カラ……幾ラ早クテモ年度ノ中途カラ執行スルコトニナルデアラウト思ヒマス、サウシテ見レバ免モ角此金ノナイト言ハル、所ノ三十年度ニ就テハ是ダケノ金ハ要ラナイ、ソレダケ御參考マデニ申シテ置キマス、ソレカラ第十七條ノ修正ハ「國費ヲ以テ補助修理シタル云々」ト云フ言葉ハ全ク實際適用ガナイノデアリマスカラ削リマシタ「本法ヲ適用スルコトヲ得」ト廣クアリマシタケレドモ詰リ第十條カラ第十二條マデノ規定ニ過ギナイノデアリマスニ依ッテ其點ヲ明ニ書イタ方ガ宜カラウト云フ理由デスノ如ク改メマシタ、第十八條ハ原案ト趣意ガ違フノデアリマセヌ、原案ニハ「所有者ノ請求ニ依リ本法第七條ヲ準用スルコトヲ得」トアリマシテ、其趣意ハ博物館ニ出陳スルコトニシテサウシテ補給金ヲ給スルコトガ出來ル、給スル必要ガナケレバ給セナクテモ宜イト云フ意味デアラウト思ヒマス、所ガ第七條ニハ先ヅ出陳スルノ義務ガアルト云フコトヲ言ッテアル、サウシテ補助金ハ是非トモ支給スルコト書イテアリマシタ、サウシテ見レバ唯準用スルコトヲ得ト云フダケハ此處ハ義務ノアル場合合デナシ、所有者カラ請求シテ出タレバ許可スルコト云フコトヲ云フベキ場合デアアル、サウシテ補助金モ第七條ノ場合ニハ是非トモ支給スルコトアリマスケレドモ、本條ノ場合ニハ支給スルコトヲ得ト云フ意味デアリマシテ、巨萬ノ資産ヲ持ッテ居ル者デアレバ、補助金ヲ貰ハナクテモ宜イデス、サウ云フ場合合ニハ補助金ヲ支給シナイト云フ意味ヲ明ニ表ハシタ方ガ宜カラウト考ヘマシテ斯ノ如ク改メマシタデアリマス、少シ病中デ十分ニ説明ガ出來マセヌ、大略ハ唯今申上ケタヤウナ趣意デ此ノ如ク修正シタデアリマス

○子爵本莊壽巨君 チヨット私ハ御質問ヲ致シマス、此十三條ノ竊盜罪ノコトデアリマスガ、此竊盜罪ハ刑法ヨリノ比較ヲ取ラレテ餘リ罪ガ重イカラ重罪カラ輕罪ノ刑ニ移サレタモノデアルガ、併シ又其範圍ニ至ッテハ刑法ノ竊盜罪ヨリハ範圍ガ廣クナツテ居ル位デ、サウスレバ刑法ノ竊盜ヨリハ此方ガ稍々重イト御認メニナツタ改正ト思ハレル、然ルニ是ニハ監視ノ刑ガ附イテ居ラヌノハドウ云フ譯デ規定ニナラヌノデアリマスカ、刑法ヨリ重ケレバ尙

更六月以上二年以下ノ監視ニ附セナケレバナラヌデスガ、其邊ハドウデアリマスカ

○富井政章君 是ハ詰リソレマデニスル必要ガアルカナイカト云フ問題デアリマシテ監守者ガ一時此所ニ書イテアルヤウナ所爲ヲ致シタ所ガモウ其者ハ再び監守者ニナルト云フコトモアリマスマイ、是ダケノ長イ重禁錮ノ刑ニ附セラレタ後ハ尙ホ監視ヲ附ケルト云フマデノ必要ハナカラウカト考ヘマス、併シソレハ是非トモ監視ガアッテハ不都合デアルト云フマデノ意見デハナイノデアリマス

○子爵本莊壽巨君 ソレハ少シ道理ニ合ハヌヤウデアアリマセヌカ、矢張刑法デモ竊盜致シタ者ガ又再び竊盜シテハナラヌト云フ悔悟心ヲ起サセムタメニ監視ニ附シテ置クト云フノデアアル、此法ト雖モ矢張此實物ヲ竊取シタ者ハ、又再び實物ニモ關セズ何事デモ何物デモ竊取スルカモ知レヌカラ尙更謹慎ヲ表シテ監視ヲ附ケルガ至當ト思ハレマスカラソレ御質問致シタノデアリマス

○富井政章君 是ハ詰リ唯今モ申上ゲマシタ通、ドチラデモ宜シイト思フコトデアリマス、本員一己ノ意見トシテ申上ゲマスルト今日ノ監視ト云フモノハ隨分不完全ナモノデアリマシテ、今日行レテ居ルヤウナ監視デアレバ果シテ之ヲ實行スル必要ガアルカト云フコトヲ疑ッテ居ルノデアリマスカラ、本員一己ノ考トシテハ監視ト云フコトニ就テ既ニ其利害ヲ疑ッテ居ルンデアリマスカラ、唯今刑法モ修正中デアリマシテ新刑法ニ於テハ監視ノ制度ハドウナリマスカ分リマセヌ、廢セラレ、コトハアリマスマイケレドモ、餘程改正セラル、コトデアラウト思フノデアリマス、ソレデ詰リ所必要ト認メナンドデアリマス、併シ置イテハ甚ダ不都合デアルト云フマデノ考デアリマセヌニ依ッテ諸君ニ於テ監視ニ附シタ方ガ宜イト云フ御考デアレバ強ヒテ反對スル程ノコトデアアリマセヌ

○平田東助君 私モチヨット質問ヲ致シタウゴザイマスガ、第五條ノ御修正ニ就テチヨット伺ッテ置キタイデスガ「特別保護建造物及國寶ハ之ヲ處分シ又ハ差押フルコトヲ得ス」、如何ニモ御説明ノ通是ハ原案ノ要旨ガ拔ケテ居ルヤウデアリマスカラ至極結構デアアラウト思ヒマスガ、「之ヲ處分シ又ハ差押フルコトヲ得ス」此處分ト云フ字ヲ御立デニナツタノハ所有者ノ方カラ御立デニナツタヤウニ思ハレマスガ「又ハ差押フルコトヲ得ス」ト云フコトハ是ハ第三者ノ方カラ御立デニナツタヤウニ思ハレマスガ、甚ダ此處ガ若シサウ云フヤウナ御趣意デアルトシテ見マスルト云フト聞コエ惡イヤウニ思ヒマスガ、尙ホ御説明ヲ願ヒマス、ソレカラモウ一ツ序ニ伺ッテ置キマスガ、此第七條ニ矢張「處分」ト云フ字ガアル「前項ノ處分」ト云フコトハ是ハ內務大臣ノコトハ當リ前ノ話デアリマスガ、是ハ行政處分ヲ指シテ居ル、又「處分」ト云フ同ジ字ニ二様ノ意味ヲ含ンデ居ル、最初ノ處分ハ固ヨリ民法上ヨリ御使用ニナツタト云フコトデアリマスガ、行政處分ト民法上ノ處分ト云フコト、一ツノ言葉ニ二ツノ意味ヲ持ッテ居ルヤウデゴザイマスガ、若シ公衆ニ分リ惡

イヤウナコトドモハアリハシマセヌカ、其邊ノコトモ併テ御説明ヲ煩シマ

○富井政章君 一應御答ヲ致シマス、成ル程此「處分シ」ト云フ言葉ハ監守者ノ方カラ使ツタ言葉デアリマス、差押ハ債權者ノ方カラ使ツタ言葉デアリマス、併ナガラ斯ウ云フ例ハ隨分他ニ澤山アリマシテ、既ニ原案ニ於テモ「債務ノ擔保ニ供シ」ハ監理シテ居ル者カラ云フ言葉デアッテ、ソレデ其點ハ一致シテ居リマセヌ、デ是ハ詰リ斯ウ云フコトガアッテモ無効デアルト云フコトヲ云フノガ趣意デアリマスカラ、何レカラ書イタ所ガ實際疑サヘナケレバ宜カラウト存ジマス、ソレカラ「處分」ト云フ言葉ハ成程行政處分ト云フヤウナ意味ニモ使ヘマスケレドモ、其場所々々ニ依ッテ意味ヲ判別スルコトハ容易デアラウト信ジマス、行政處分ノ場合ニハ何カ其上ニ内務大臣ガトカ主務大臣ガトカ何トカサウ云フヤウナ言葉ガアリマシテ決シテ其一個人ガ其財產ヲ處分スルト云フコト、ハ混ズル解釋ハ生ジマイト思ヒマス、此場合ニ處分シト云フ所ガ此行政處分ト云フ意味ニハドウシテモ解釋ノ仕方ニ於テサウ云フ風ニ解釋シテハ少シモ意味ヲ爲シマセヌ、斯ウ云フ場合ハ新民法ニ於テハ唯處分ト書イデアッテ即チ一個人ガ處分スルト云フ意味ニ疑ハナカラウト考ヘマス

○平田東助君 固ヨリサウデアラウト思フタノデアリマスガ、第七條ノ此處分ト云フ字ニ就テ尙ホモウ一ツ伺ヒマス、能ク詭味致シテ見マスレバ固ヨリ間違ハナイ道理デアリマスガ此御使ニナリマシタ前項ノ處分ト云フノハ命令トカ云フノト同ジコトニナリマスガ或ハ命令ト云フ文字デハ茲ノ意義ヲ爲サヌノデアリマスガ、其點ニ就テ一言御考ヲ伺ッテ置キマス

○富井政章君 命令ト書キマシテハ唯今御非難ニナツタ一ツノ言葉ヲ二ツノ意味ニ使フト云フ疵ガ一層著シカラウト思ヒマス、其譯ハ此案ニ於テ命令ト云フ言葉ハ數箇條ニ行政命令ト云フ意味ニ使ッテアル即チ勅令ヤ省令ナドノ意味ニ使ッテアリマス、サウシテ見レバ同ク公法上ノコトデアリマスニ依ッテ前ノ處分ト云フ字ニ就テ起ル混同ヨリモ一層疑ガ強カラウト思ヒマシテ茲デハ態ト命令ト云フ字ヲ避ケタノデアリマス、ソレトモウ一ツハ第一項ニ於テ内務大臣ノ命令ト書イテナク内務大臣ノ命令ニ依リト書イタ、ソレハ即チ唯今申上ゲマシタ外ノ場所デ命令ト云フ言葉ヲ行政命令ト云フ意味ニ使ッテアリマスガタメニ其混同誤解ヲ避ケルタメニ此原案ニ於テモ命令ト云ハズシテ命令ト云フタノデアラウト思フ、ソレハマア、ドチラデモ宜シイコトデアリマスケレドモサウ云フ理由デ命令ト云フ字ヲ使ハナヌダノデアリマス

○平田東助君 分リマシタ

○男爵小松行正君 チョット御質問致シマスガ、是ハ前第一讀會ノ始マリマシタ時分カラ本員ハ控ヘテ居リマシタガ此過料ト申シマス、第十四條ニ過料トゴザイマス、是ハ科ト云フ字ノ誤字デハナカラウカト思ヒマスドウカ御正誤ニナリタイト思ヒマス

○富井政章君 ソレハ決シテ不注意デアリマセヌ、知ッテ科ト云フ字ヲ使ハナカッタノデゴザイマス、科ト云フ字ヲ使ヒマスト刑法ノ科料ニナリマス、刑法ノ違警罪ノ刑ニナリマス、此場所ハ刑法ノ科料デナイ、民事上ノ罰デアリマスカラ殊更ニ科ト云フ字ヲ用ヒナンド

○男爵小松行正君 イヤ分リマシタ

○宮本小一君 富井君ニモウ一應質問致シタウゴザイマス、第三條ニ「地方長官之ヲ指揮監督ス」トシテ、「内務大臣之ヲ監督ス」ト云フノヲ御修正ニナリマシタ、其コトハ御説明デ一ト通分ッテ居リマスガ指揮ト指圖ヲスルト云フ字ニナルト或社寺ノ例ヘバ金屏風ガアッテソレガ國寶デアアル、其金箔ノ置キ方ハ斯ウ置カナケレバナラヌ、此繪ノ具ハ斯ウ彩色ヲ直サナケレバナラヌトカ何トカ云フコトマデモ地方官カラ注文スルヤウニ聞エマシテソレモマア宜シイカモ知レマセヌガ、其出來方ノ善シ惡シノ責任ハ地方長官ガ背負フヤウニナリハ致シマセヌカ、管理ト云フコトハ今ノ説明デハ地方長官ガ背負フヤウニナリハ致シマセヌカ、指揮ト云フコト益々指圖ヲスルコトハ出來ナ

ルカラサウ云フヤウニスルト地方長官ハ連モツシナコトヲスルコトハ出來ナイ職掌ト思ヒマスガ、ソレデ其責任ヲソコヲ巧ク負ハセルヤウナコトニ若シモナルト大ナル間違ハアリハシマイカト思ヒマスガ、ソコハ如何デゴザイマス、ソコモモウ一ツ伺ヒタウゴザイマス、ソレカラモウ一ツハ今平田君カラ處分ト云フコトヲ御尋ニナリマシタガ、私ハ此處分ト云フ字ハ何分未ダ了解ニ

苦シデ居リマス、賣買贈與交換ト云フヤウナ列記ハ漏レルコトガアリマスルカラ何カ一二字デ以テ包含スルヤウナ字ハゴザイマスマイカ、成ル程此七條ニモ「前項ノ處分」トアリ又朱デ消シテアリマス第十條デスカ「賣物類ノ爲ニ保存金ヲ處分スルコトヲ得」ト云フ此中デモ官カラ處分スルヤウニナツテ自分達ガ賣買シタリ贈與シタリスルト云フヤウニ聞エナイヤウニ見エマシテ甚ダ是ハ不安心ニ存ジマス、是ハ今一應御論ガアツタコトデアリマスカラ尙ホ二讀會ノ節ニナリマシテ平田君アタリカラ御名說デモ出マスレバ私ハ贊成致シマス、ソレカラ第七條ニ帝室官立又ハ公立ノ博物館ニ國寶ヲ出陳スルノ義務ガアルト云フコトガアリマスガ是ハ何ゾ期限デモ定メテ例ヘバ半年トカ三ヶ月トカ云フヤウナコトデモアルノデゴザイマセウカ、久シク借リテ返サズト云フコトガアツテ、ソレガ永引ク間ニハ賣物ヲ燒失ッテ仕舞フコトモ永イ中ニハアル、サウカト申シテ期限ノナイ時ハ何時マデ置イテモ宜イヤウナモノデアリマスガ、是等ハチヤント命令ナドガゴザイマスモノデアリマスカ如何デアリマセウカ、ソコデ尙ホ承ッテ置キタイ、若シモソレガナイ日ニハドウカ

是ハ期限ヲ御入レ下サルヤウニハナリマスマイカ、ソレカラ十六條ノ金額ノコトデアリマスガ、是ハ唯今富井君ノ御說デ例ヘバ此法律ヲ三十年カラ施行致シテモ三十年ハ僅々ノ費用デ三十一一年カラ此位ノ金ガ出ルト云フコトデアリマスガ、ソレハドウカ内務次官モ出テ居ラレマスカラ其邊ハ確ナ御説明ガゴザイマセヌト大藏次官ト内務次官トノ考ガ衝突デモシテ居リマス誠ニ此

法律ヲ施行スル者ガ迷惑致サウト思ヒマスカラ、ソレハ一ツ確ニ御説明ヲ内務次官カラ煩シタウゴザイマス、且ツ前ノ所ダケハチヨット御質問イタシマス

○富井政章君 成ル程指揮ト云フ言葉ハ通俗ノ用ヒ方カラ云ヘバ随分強イ世話ヲ燒クヤウニ取レマスケレドモ法律ノ言葉トシテハ管理ト云フテハ明ニ地方長官ガ官ノ工事トシテヤルト云フコトニナラウト思ヒマス法律ノ言葉トシテハ管理ト云フ方ガ私ハ強イカト思フ、指揮ト云フト法律上極ツタ意味ヲ持ツテ居ラナイ言葉デアリマシテ唯指圖ヲスルノデアリマスカラ放任シテ置イテハ誠ニ不經濟ナヤリ方ヲスルカモ知レナイ、マア監督ト云フダケデモ宜シイカモ知レヌノデアリマスケレドモソレデハ少シ足リナイイカモ知レヌ、モ少シ其通常ノ監督ヨリモ自カラ進シテ積極的ニサウ云フ不經濟ノヤリ方ヲシテ往カヌヤウニセネバナルマイト云フノ指揮ト云フ字ヲ使ツタノデアリマス、ソレカラ「處分シ」ト云フ言葉ノ御不安心デアルト云フコトハ誠ニ御察シ申上ゲマスノデ吾々ニ於キマシテモ實ハ此コトニ就テハ十分ニ考ヘマシテ何カ今少シ優ツタ言葉ガナイカト頻ニ考ヘテ見マシタケレドモ遂ニ見當リマセナシタ、ソレ故據ロナク斯ウ云フ言葉ニ致シタノデ、或ハ法律行為ノ目的ト爲スト書イタラドウカト思ヒマシタケレドモ、ドウモソレデハ餘リ法律ノ講釋ヲスルヤウデモアリマシテ却ツテ分リ惡イデアラウト思ヒマシテ斯ウ云フ風ニ書キマシタ、是デイカスト云フコトデアリマスレバ民法ノ中ニモ二三箇所斯ウ云フ風ニ使ツテアリマス所ガアリマシテ誠ニ始末ノ附カナコトニナリマス、ソレデ外ニ例モアリマスルコトデアリマスルニ依ツテ旁々是デ宜シカラウト考ヘマス、ソレカラ博物館ニ出陳スルコトニ附テ期限ヲ置ク積カ否ヤト云フ御問セデアリマスガ、是ハ寧ロ政府委員ニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス、本員ハ別段其必要ヲ認メナカッタノデアリマスニ依ツテツイ質問モ致シマセナシタ、又期限ヲ設クル必要ガアルト致シタ所ガソレハ二十條ニ依ツテ後日命令ヲ以テ極メテ差支ナカラウト考ヘマス、期限ヲ定ムル主意デアアルカナイカト云フコトハ是ハ政府委員ニ答辯ヲ煩シタイノデアリマス、ソレカラ此第十六條ノ金ノコトニ就キマシテノ御質問ハ内務省ノ政府委員ニ對スル御質問デアリマスケレドモ私ノ先刻述ベマシタコトニ關聯シテ居リマスカラチヨット一言申シ上ゲテ置キマスガ、私ガ其三十年度ニ就キマシテハ免モ角是ダケノ金額ハ要ラナイト申シマシタ譯ハ先刻大藏省ノ大藏次官デアリマシタカ此三十年度ニハ一文モナイト云フコトデアリマシタカラ三十年度ニハ免モ角是ダケノ金額ハ要ラナイノデアルト申シタノデアリマス

○宮本小一君 富井君ノ御説明ハ能ク分リマシタガ、序ナガラドウカ内務次官ノ御説明ヲチヨット伺ヒタウゴザイマス、唯今ノ期限ノ事ト金額ノ事ト兩方ドウカ……

(政府委員中村元雄君演壇ニ登ル)

○政府委員(中村元雄君) 唯今宮本君ノ御問ヒニ御答ヘ致シマス、經費ノコ

トハ前ニ委員會デ政府委員ヨリ申シ上ゲマシタヤウニ先ヅ二十萬圓ハ是非之ヲ要シタイト申シマスルハドウモ此保存ノ何ガ段々申出ガ多ウゴザイマシテ十分ノコトハ行届キマセヌ故ニ昨年二十九年度ノ所デハ之ヲ細ニ割リマシテ餘計ナ多數ノ何ヲ致シマスルト折角ノ保存金ヲ與ヘマシテモ十分ノコトガ届キマセヌカラ先ヅ數ヲ少クシテ十分ノ修費等ノ行届クヤウニ致シテ居リマス、此二十九年度ハ五萬圓ノ經費デハ是デハ逆モ足りマセヌカラ是非二十萬圓ハ要求シタイト考ヘテ居リマス、所ガ國庫ノ都合ガドウモ左様ニハ參ラヌ、デ已ムナク先ヅ十分ナガラモ此法律ヲ改正致シテ金額ハ五萬圓デ、矢張二十九年度通ニ三十年度ハ之ヲ以テ不足ナガラモ致サナケレバナルマイト考ヘテ居リマス、併シ唯今交渉中デゴザイマスカラ此處デハ何トモ先刻大藏次官ヨリモ答ヲ致シマシタガ精々内務省ニ於テモ成ルタケ十分ノコトヲ要求致シマシテ保存ノ目的ヲ達シマスルヤウニ致ス心得デゴザイマスガ、尙ホ交渉致シマスル心得デアリマス、ソレカラ期限ノコトハ先ヅ此法律ガ兩院ヲ通過致シマスレバソレノ裁可ノ手續ヲ經マスル等ノ時間モアリマセウト考ヘマス、ドウデ三十年度即チ四月ヨリ施行ト云フコトニハ間合ガアルマイト考ヘマス、若シ之ガ此三十年度ノ中途ヨリ行ヒマスト云フニナレバ丁度先刻富井君ノ御説明ガゴザイマシタヤウニ金額モ半デ濟ミマス、マア十五萬圓乃至二十萬圓、十五萬圓トシテ……唯今ニ豫算ニ上ゲテゴザイマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

(宮本小一君發言ヲ求ム)

○議長(公館近衛篤磨君) 一時休憩致シマス

午後零時十七分休憩

午後一時十四分開議

○副議長(侯爵黑田長成君) 本日午後ヨリ議長ニハ差支ガゴザイマスカラ本員代理ヲ致シマス、是ヨリ報告ヲ致シマス

(有賀書記官朗讀)

本日梅原修平君澤原爲綱君渡邊甚吉君ヨリ六十二名ノ賛成ヲ以テ會計年度改正ニ關スル建議案ヲ發議セラレタリ

員長ニ千阪高雅君當選セラレタリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ午前ノ引續ノ會議ヲ開キマス

○宮本小一君 政府委員ハ出テ居ラレマスガ、中村君ハ……中村君ニ御尋申シマスガ私ノ申シヤウガ惡カッタカ聴キヤウガ惡カッタカ少シ答辯ガ違ツテ居リマス、デ尙ホシヤカリ茲デ伺ヒマス、此第七條ノ博物館へ出陳スルノ義務アルト云フノハイヤナコトデハゴザイマスルガ據ロナク是ハ是トシテ置イテ是ハ其陳列シマスルニハ何月ト云フ時間デモ限ツテアリマスルコトデアリマスガ、法律デ許スト云フノモヲカシナコトデアリマスガ何カ命令細則ミタ

ヤウナモノデ極メルノデアリマス、或ハ一旦出シタラ年限ナクイツマデモ置クト云フヤウニモ見エマシテハ出ス者モ餘程心配ニ關係シマスルコトデアリマス、カヲレヲ御尋申シマス、ソレカラマ一箇條ハ古社寺ノ保存ニ目今當リマス、ル社寺ト申シマス、ルモハ奈真ニ二三ツ、京都ニ一軒トカ二軒トカ、ソレカラ平泉ノ中尊寺トカ云フコトヲ外間テ承ツテ居リマス、ガ果シテ左様デゴザイマセウカ、先ヅ目今社寺ノ數ト社名寺名ヲ伺ヒタウゴザイマス、ソレカラ又其外ハ随分古イ寺ヤ社ガアツテ、ソコニハ實物ガ一ツヤ二ツハアルデゴザイマセウカ、随分ソレハ惜イモノモ澤山ナキニシモアラズデアリマス、ガ併ナガラ是ハ此法律ノ範圍外トシテ申サバ實ニ入レテモ賣買ヲシテモ宜イト云フヤウニ放任ナサル積デゴザイマス、或ハ此法律テ處分ナサル積デゴザイマス、サウウマクハ行キマス、マイト思ヒマス、カラ尙ホ念ノタメソレヲ伺ヒマス

(政府委員中村元雄君演壇ニ登ル)

○政府委員(中村元雄君) 期限ノコトハ成程私ガ少シ間違ヒシテ居リマシタガ、此法律ノ實施期限ノ事ト最前開議リマシタガ、此期限ハ別ニ規定ハ致シマセヌデアリマス、併ナガラ此國寶ヲ出陳シタル社寺ニハ命令ニ定メタル標準ニ從ヒ國庫ヨリ補給金ヲ支給スルト云フノガ第八條ノ規定デゴザイマス、此補給金ハ豫算デ一箇年分デアリマス、ルカラ自ラ一箇年ノ期限ノヤウナ形ニナツテ居リマス、デ此補給金其他保存ニ要スル所ノ此金ノ配置方ニ依リマシテハ或ハ前年ハ……譬ヘテ申シマス、レ玆ニ二百ノ品ヲ出シテ居タノニ金ノ都合ニ依ツテハソレヲ又減ラサニヤナラ場合ガゴザイマス、總テソレハ命令デ……命令ニ依ツテ増減ヲ致シマス、コト、自ラ期限ノ一箇年ノ期限ノ如キモノニナツテ居リマス

○宮本小一君 サウ致セバ何デゴザイマス、カ日數ガ長ケレバ補給金ガ餘計

……

○政府委員(中村元雄君) 左様年々渡シマスノデ……

○宮本小一君 サウ云フ譯デスナ

○政府委員(中村元雄君) マアサウ云フ譯デアリマス、ソレカラモウ一ツノハ何カデゴザイマシタナ

(宮本小一君「寺ヤ社ノ數デゴザイマス」ト述フ)

是マデアリマシタノハ、ドウモ法律モナイノデ、不備ナモノデゴザイマス、ガ是ホドアリマス(書冊ヲ示ス)、此數ノ寄セタモノハ此ニチヨットアリマセヌガ御入用ナラバ寄セテ上ゲマス、ガ最前誰ヤラ述ベラレマシタ通一箇年初年ガ二萬圓出シマシタ、其二萬圓ハ明治十五年度デ、初メ二萬圓、其以後二十七年マデ一萬圓ツツ渡シマシタ、ドウモ別ニシカリシタ規定ガナイモノデスカラ随分渡シ方ニ妙ナノガアリマス、一番二十九年度デ、多イノハ……二十九年度カラ一體ニ締ツテ居リマス、ガ二十九年度ノ一番多イノガ奈良ノ法起寺ノ三層塔デ、之ニ一萬九千九百十五圓渡シ京都ノ清水寺ニ四萬五千二百八十圓ニ

對シテ二十九年度ニ一萬九千九百八十圓渡シマシタ、ソレカラ十七年度頃淺草公園内ノ神社ニ五十圓渡シデアリマス、是等ハ別ニ保存ノ必要ハナイ、何等ノ名義デ渡シタノカ、寄付ノアノ高札デガスナ、マアアノ種類デアリマス、ソレカラ十八年度ニ富山縣ノ高瀬神社ヘ五圓渡シデアリマス、是ハ何ノタメヤラ殆ト保存ヲ必要トスルヤ否ヤ分ラナイ、此法律ガ出レバソレ等ノコトハ皆保存會ニ諮問ヲシマス、ト是カラ基ガ立チマス、モウソレナコトハアリマセヌ、二十九年度ニハ大分一體ノ事ガ能ク整理ガ出來マシタカシテ、ソレト金ガ五萬圓ノ金高デ四萬九千九百九十九圓支出シタ、ソレガ京都府デ清水寺、大報恩寺、醍醐寺トソレカラ先刻御話ノアリマシタ、殿手ノ中尊寺、ソレカラ奈良ノ法起寺、新藥師寺、ソレカラ東大寺ノ實物ノ修費、ソレカラ律宗ノ唐招提寺トソレカラ法隆寺ガソレナ鹽梅ニナツテ居マシテ是等モア此法律ガ實施ニナリマシタ以上ハ此保存會ニ諮問致シマシテ道ヲ立デマシタ締ノ附キマス、ヤウニ致シマス、積デゴザイマス、先刻御尋ノ中、寺ハ左ホドノ有名ナ寺デモナケレドモ其中ニハ實物類ガ保存ヲ要スベキモノトアリマス、ル類ガソレ等モア果シテ良イ品ガアリマス、レバドウカ保存ヲ致シテ此中ヘ加ヘタイモノト……サウ致ス積デゴザイマス、デ是マデハ向フヨリ申出デ……地方ヨリ申出デニ從ツテ、ソレニ從ツテヤツテ居リマス、此法律ガ施行ノ上ハ初ニドウカ此保存會ノ方ニ諮問ヲ致シマシテ先刻ノ斯様ナモノニ保存基金ヲ與ヘナケレバナラヌコトハ分ツテ居リマセウシ又分ラヌモノハ地方官ニ達シマシテ調ベマシテ本ヲ紬シマシテ、ソレカラ命令ノ方デ或ハ重イモノハ勅令、輕イモノハ省令トカ縣令トカ締リヲ附ケマス

○宮本小一君 モウ別ニ申スコトモゴザイマセヌ、唯今ノ御辯明デ大抵分リ

マシタ、サウ云フコトナラ此案ハ至極適當ノ案ト存シマス、何卒十五萬圓二十萬圓ノ金額ノ衝突ガ能ク圓滑ニ交渉ガ整ヒマシタナラ成ルベク是ハ行ヒタイモノデ……贊成ノ意ヲ表シテ置キマス

○政府委員(中村元雄君) 附ケテモウ一言申上ゲテ置キマス、實ハソノ此

法案ヲ出シマス前ニ……斯様ナコトヲ申シマシテハ如何デゴザイマス、カ正直ノ御話ガ金ノ方カラ先ニ穿鑿シテ出サナケレバナラヌガ豫算ニハ五萬圓ト積ツデアツテ此法ハ十五萬圓乃至二十萬圓ヲ要サナケレバナラヌコトニナツテ居ル、ソレダケ出サナケレバ十分ニ保存ガ出來ナイト云フコトニ附テハ少シトシチンカンニナル、今更申シマス、ハ如何デゴザイマス、カ今日ハドウモ財源ガ無ナイト云フコトデ三十年度デハ實ニムツカシカラウト思ヒマス、十五萬圓乃至二十萬圓取締ルコトハ……三十一年度ニナレバドウアツテモ是ダケノ金ハ是非要求シマシテ是非行ヒタイ積デ、サウ交渉致シマス、ル心得、然カシマス、ト是ハモウ議會ノ通過次第私ヨリ何トモ此所デ申上ゲル次第デアリマセヌケレドモ彌々財源ガナイト云フコトニナリマシタナラバ最前大藏省ノ政府委員ヨリ申サレマシタ通、金ガナイトナリマシタ以上ハ或ハ十六條ダケハ三十一年度ヨリ施行スルト云フコトヲ附則ノ中ニデモ掲ゲナケレバナラ

又結果ニナリマス、是非此法案ハ實ニ必要ナモノデ美術ノ保存ツレカラ由緒アル所ノモノ、ツレカラ歴史ノ考證等ノコトハ一日モ忽諸ニ捨置イテハ基ガ絶ユルヤウニナリマスカラ是非此法案ノ通過センコトヲ切ニ希望致シマス、ドウカ満場ノ諸君宜シク御協賛ヲ願ヒタイモデ……

○松岡康毅君　チヨット質問ヲ致シマス、唯今ノ御答辯中ニ淺草ノドコトカニ五十圓、ツレカラ富山縣ノ何神社トカニ五圓バカリノ金ヲ出シタ、ツレハドウ云フ譯ヤラ分ラナイ……

〔政府委員中村元雄君〕是ハ明ニ理由ガ分リマセヌト述フ

宜シウゴザイマス、チヨット御尋ヲシマス分ラヌト云フコトデアリマシタガドウ云フ譯デアッタノヤラ分ラヌ、此法案ガ出來タ上ハ是カラ先キハ諮問シテ理由ノ明ナモノニハヤルト斯ウ云フヤウニ聽取リマシタガ理由ノ分ラヌト云フノハ政府委員デ内務省ノ所管事務ノ上デ御分リニナラヌノカ、又ハ中村某ト云フ人ガ昨今這入ッテ來テ前ノ協議振リモ知ラナイカラト云フ御主意カ、其分界ヲモウ一應承リタイ

○政府委員〔中村元雄君〕　モウ宜シウゴザイマス、實ハ私モ昨今這入ッタノデ精シイコトハ取調ベル間合モナク實ハ今日私ハ出マスニ附テ昨夜取調ベマシタ、取調ベマシタ所ガ色々ナノガ殘ッテ居リマス、全ク是ダケノモノヲ願ニ依ッテ寄付シタト云フヤウナ姿ニナッテ居ルト云フコトヲ聞キマシタ、詳シク調ベマシタヲ明ニ其理由ガアルカモ知レマセヌケレドモ茲デハキト申上ゲル譯ニハ行キマセヌ御入用ナラバ又調ベテ……答辯ノ不十分ナ所ハ調ベタ上デ申上ゲマス

〔松岡康毅君〕モウ宜シウゴザイマスト述フ

○村田保君　此案ハ委員諸君ノ御丹精ニ依ッテ大層善クナッテ居リマスルカラ本員ナドハ速ニ議長ノ採決ヲ願ヒマス

○男爵伊達宗敦君　チヨット中村サン御尋シタイコトガマリマスガ政府ニ於テハ此委員ノ修正ニ御同意デアリマス、カト云フモノハ略々伺ッテ置キタイノハ先程田尻政府委員ハ、十五萬圓乃至二十萬圓ノ金ヲ出スコトハ當年度ハ出來ナイト、若シ是デ不同意ト云フト法律ト云フモノハ別ニ記載ガナイト公文式ノ通四月以後ハ遵奉スベキモノデアアル、全クアナタノ御話ノヤウニ十六條ダケハ三十一年度カラ施行スルト云フコトヲ加ヘルナラバアナタノ方デ御修正ニナラナケレバ其儘デハイケマセヌ

○政府委員〔中村元雄君〕　ツレハ午前申述ベテ置イタ通交渉中デゴザイマスカラ交渉……其交渉ノ結果マダ如何トモ唯今ハ申上ゲラレマセヌ

○子爵堀田正義君　チヨット尙ホ政府委員ニ質問シマスガ今伊達男爵ヘノ答辯ニ據ルト交渉中ダカラ云々、交渉中デアルカラ今日此二讀會或ハ三讀會ニ移ルコトハ止メテイレイト云フノ御請求デゴザイマス、ソコガハッキリシナイト實ニ吾々ハ贊否ニ苦シム

○政府委員〔中村元雄君〕　御答シマスガ是ハ兩院通過スレバ法律ノ結果ニ

依ッテ自ラ其費用ガ出ナケレバナラヌデアリマス交渉ト云フノハ今日私ガ……〔開取レス〕此點ダケヲ申上ゲマス

○男爵千家尊福君　私ハ第七條ノ但書ノ朱字ノ修正ニ附イテ少シク質問シテ置キタイト思ヒマス、是ハ政府委員カラノ答辯ハアリマスマイガ特別委員ノ御方カラ御説明ヲ願ッテモ宜シイ、元來此法案ハ社寺ヲ保存スル目的ヲ以テ成立ッタ法案デアッテ至極結構デアラウトハ存ジマスガ寶物ヲ博物館ニ出陳スルノ義務ヲ負ハセルコトニナッテ居ル、此點ニ附イテハ隨分嚴シイコトデアラウト思フデアリマスガ修正ニ據リマス、但祭典法用ニ必要ナルモノハ此ノ限ニ在ラスト云フコトニナッテ居ル、所デ此祭典法用ニ必要ナルモノト云フノハ如何ナル種類ノ物デアアルカ其社寺ニ於テ最モ重要ナル寶物デアアルヤ否ヤト云フコトヲ取調ベテ見マスレバ祭典法用ニ必要ナル品物ハ却テ其社寺ニ於テ貴重ナル寶物トセザル部分ニ多クアルコトデアラウト思ヒマス、而シテ其社寺ニ於テ貴重ナル寶物ナルモノハ祭典又ハ法用ニ一向關係ハ持ッテ居ラヌ、關係ハ持ッテ居ラナイケレドモ其社寺ニ於テハ甚ダ貴重ノ寶物デア

ル、神體或ハ本尊等ノ有ルタメニ神社等ニ參拜ヲスル者モアルケレドモ一方ニハ其社寺ニ在ル所ノ貴重ナル寶物ヲ拜觀センガタメニ千里ヲ遠シトセズシテ其社寺ニ至ル所ノ信者モ多クアッテツレガタメニ其社寺ノ收入モ年々多イコトデアラウト本員ハ思フデアアル、然ルニ其社寺ニ於テ最モ信者ノ歸向心ヲ繫イデ居ル所ノ貴重ナル寶物ガ祭典或ハ法用ニ關係ナクシテ博物館ニ出陳シナケレバナラヌト云フコトニナッテ見ルト其社寺ハ不幸ニモ遠方ヨリ信者ノ參拜スル所ノ望ヲ薄ウスルト云フヤウナコトガ私ハアルヂヤラウト思ヒマス、因テ私ノ質問致シマスノハ〔祭典法用ニ必要ナルモノハ此ノ限ニ在ラス〕ト特別委員諸氏ニ於テ修正ニナリマシタガ今私ガ陳述致シマシタヤウニ其社寺ニ於テハ最モ貴重ナルモノデアッテ信徒ノ歸向心ヲ誘導スルヤウナ關係ノアルモノハドウスル御考デアアルカ其點ヲ一應確メテ置キタイト思ヒマス

○平山成信君　千家男爵ノ御質問ニ對シテ委員ノ意見ヲ申上ゲテ置キマスガ祭典法用ニ必要ナルモノハ之ヲ取上ゲラレテハ社寺ハ甚ダ迷惑ナコトデアリマス、是ハ出陳サセルコトハナラヌト云フヤウニ致シタノデ其外ニハ成程唯今千家君ノ仰シヤル通信仰心ヲ維持スルナド、云フ者モアリマセウ又ツレバ拜觀シテツレガタメニ多少ノ收入ガアルト云フコトモゴザイマセウ其邊ハ如何ナル處置ヲスルカト云フコトハ實際問題デ其物ニ當ラナケレバ一々極メル譯ニハ參リマセヌデアリマスガ其收入ガ減シテ社寺ガ迷惑スルコトガアッテハナラヌト云フ所カラ委員ノ修正ノ第八條原案ノ第七條ノ二項デ補給金ヲヤルコトニナッテ居リマス、實際ノ有様ハ社寺ニ於テ決シテ迷惑ヲ感ゼザルノミナラズ喜ンデ之ニ應ジテ來ルト云フ有様デアルト云フコトハ政府委員カラ承ッテ居リマスルデ其邊ハ委員ニ於テハ安心シテ居リマス、此段ヲ御答辯シテ置キマス

○水之江浩君　私モ少シ質問致シタイ政府委員デモ特別委員デモ宜シウゴザ

イマス、唯今千家君ノ御尋ノ事ニ附キマシテ私モ聊カ……私ノ御尋申シマスル主意ハ國寶ノ資格ヲ得マシタモノハ直ニ博物館ニ出陳セニヤナラヌト云フ義務ノアルト云フコトハ分ツテ居リマス、唯今平山君ノ御説ノ補給金ヲ與ヘルト云フ御答辯デアリマスガ若シヤ社寺ノ秘藏物ニシテ金錢ニ拘ラズ社寺ノ境内ヲ出スコトハ好マヌト云フサウ云フヤウナ譯柄ガアリマス時ニ於キマシテハ國寶ト云フ資格ヲ得タ時分ニハドウシテモ是ハ博物館ニ出陳セニヤナラヌ、寧ろ國寶ト云フ資格ヲ得ナイデ居ル方ガ宜カラウト云フ考ヲ持チマシタ時ニハ如何ナル我ガ國ニ於キマシテ貴重ナル所ノ寶物ニ於キマシテモ國寶ノ資格ヲ得ヌデモ宜シイト云フコトヲ内務大臣ハ御許シニナルコトデアリマセウカ、其邊ヲ……

○平山成信君 ソレハ法律ノ上デハ内務大臣ガ國寶ノ資格アリト認メレバ無論國寶ノ資格ヲ與ヘルコトハ内務大臣ノ權利ニ屬シマスカラ國寶ニ定メラレテモ致方ガナイト云フコトニセネバナラヌト思ヒマス、ソレカラ先キノコトハ實際ニ法律ヲ執行スル方法ニ屬スルコトデアリマスカラ法律ノ上デ申シマズレバドウ云フコトデモ主張スルコトハ出來ナイ、國寶ト指定サレタ以上ハ、出セト云ヘバ出サナケレバナラヌト云フコトニ法律ノ上デハナリマス、其邊ノコトヲ委員トシテ御答ヘシテ置キマス

○小幡篤次郎君 私モ第七條ニ附キマシテ特ト質問ヲ致シタウゴザイマス「社寺ハ内務大臣ノ命ニ依リ帝室、官立又ハ公立ノ博物館ニ國寶ヲ出陳スルノ義務アルモノトス」ト云フ文面デアリマスガ此義務ノアリマスト云フコトハ此法律ノ精神ノヤウニ考ヘラレマス文字デアリマスガ義務ノアリマスモト云フコトニナリマス即チ内務大臣ハ之ヲ出陳セシメル權利ノアリマスモノト解シマス外ニ解釋ノ仕方ガナイヤウデアリマスガ少シ人ノ權利ヲ蹂躪シマスト云フ嫌ヒノアル文字ノヤウニ思ヒマスカラ之ヲ何トカ穩ナ文字ニ換ヘマズレバ誠ニ贊成ヲ致スニモ快ク贊成ガ出來マスガ義務ノアリマスト云フコトニ附キマシテ何カ確カナ根據ガゴザイマシテ追ヒニ法律ノ……民法ナドノ改正ガ出來マシテ斯様ナ文字ヲ使ヒマシテモ一向蹂躪ノ嫌ヒノナイヤウナ御解釋ガ出來マスレバ此案ニ贊成シタイト思ヒマスガ此意味合ヲ分別シマス所ヲ委員ヨリ御答ヲ承ハリタウゴザイマス

○富井政章君 成程「義務アルモノトス」ト云フ言葉ハ少シ強イヤウデアリマスガ是ハ出陳スルコトヲ要スト書イテモ又ハ出陳スベシト書イテモ宜イノデアリマス、其言葉ノ使ヒ方ハ孰ニナリマシテモ本員等ハ異存ハナイノデアリマス、併シ法律上ノ解釋トシテハ如何ニ書イテモ同ジコトデアツテ詰リ失張出陳セネバナラヌト云フコトニナラウト思ヒマス、又是ガ嫌ヒナラバ出陳セナクテモ宜イト云フコトデアツテハ此法律ヲ設ケル趣意ガ少シモ通ラナイト思ヒマスカラ言葉ハ柔ラカクナツテモ事柄ハ是非トモ斯ウナクテハナラヌト思ヒマス、是ハ矢張土地收用法ナドト理窟ハ同ジコトデ詰リ國家ノ公益上カラサウ云フ品物ハ成ルベク一己人ニ於テ擅ニ處分シテシマハナイヤウニシ

テ國ニ永久ニ存シテ置キタイト云フ目的カラ出テ居ルト思ヒマスカラ詰リ公益上カラナラバ法律ガ一己人ニ斯ウ云フ義務ヲ負ハセテモ少シモ酷ニ過グルト云フコトハナカラウト思ヒマス、殊ニ是ハ所有權ヲ奪切ツテシマフデハナイ、サウシテ其出陳シテ居ル間ハ補給金ヲ與フルト云フコトデアリマスニ依ツテチヨット言葉ニ現レル程ヒドイコトデハナイデアリマス、併シ言葉ハ出陳スルコトヲ要ス、出陳スベシト改マリマシテモ少シモ差支ハナカラウト思ヒマス

○小幡篤次郎君 唯今ノ御辯明デハ此文字ヲ直サヌデモ差支ナイト云フコトデアリマシタガ私ノ希望ヲ申シマスレバ要スルト云フヤウナ字ニ變ヘタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス

○侯爵醍醐忠順君 千家尊福君カラ御質問ノ所ハ御主意ハ至極御尤ノヤウニ存シマス、此條ニ附キマシテ好キ改正ノ案ヲ御審ヘノコト、察シマスル、如何ニモ其社其寺デ實ニツレガナクテハ參拜人モナイト云フヤウナノハ如何ニモ差支ル事情ガアル、如何ニ此チカラツレダケノ補助金ヲ出シテ遣ルト云フ條ガアツテモ、情實其社其寺ニ於キマシテハツレガナクテハ參拜人モナイト云フ情實ガ實際アラウト考ヘマス、御尤ノ御考ト存シマス、然ラバ何トカ此條ニ互リマシタ節ニ然ルベキ御修正ノ案ヲ御審ヘノコト、存シマス、其事ヲ一應千家君ニ御尋致シタイ

○男爵千家尊福君 是ヨリ述ベテモ宜シウゴザイマスカ

○副議長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス

○男爵千家尊福君 唯今醍醐侯爵カラ本員ニ向ツテ但書ニ附イテ修正案ヲ審ヘテ居ルカト云フ御質問ノヤウニ承リマシタガ本員ハ實ハ本日出席ヲ致シマシテ此席ニ於テ始テ此修正案ヲ見マシタヤウナコトデアツテツレ故心附キマシタ廉ヲ取敢ズ特別委員ニ向ツテ御質問致シタヤウナコトデアアル、其御答辯モアリマシタケレドモ本員ハ明瞭ニ承ハルコトヲ得マシナカッタデ甚ダ不幸ニ存シテ居リマス、何レ此條ニ至リマシタナラバ何レ又第二議會ヲ開ク日ハ日時モアリマセウカラツレマデニ考案ガ附キマシタナラバ提出致シテ醍醐侯爵ノ御贊成ヲ得マスコトニ致シタイト思ヒマスカラ醍醐侯爵ニ於テモ本員ガ質問ヲ御尤ト御感シ下サルナラバドウカ適當ナル御修正案ヲ御提出アラムコトヲ望ミマス、本員ハ喜デツレニ贊成スルコトニ致シタイト思ヒマス

○侯爵醍醐忠順君 本員ハ誠ニ御主意ヲ贊成致シマシタガドウモ其我輩ハ寺ニモ社ニモ關係ノナイ人間デアリマスカラ一向アリノ所冷淡、併シ千家尊福君ノ今ノ議論ハ御尤ト存シマシタニ依ツテ定テ宜イ御考ヲ御審ノコト、存シマシテ即今此案ヲ御覽ノコト故唯今ハ其案ハ御審ナクモ若シ茲ニ御希望ガアルコトナラバ何トカ茲ニ御書加ニナレバ然ルベク又其節ニ應ジマシテ贊成ヲ致シマスル

○副議長(侯爵黑田長成君) 最早大體ノ御論ハ盡キマシタコト、認メマスニ依テ是ヨリ第二議會ニ移ルベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス本案第二議會ニ移ルベ

トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザイマス

○子爵岡部長職君 本案ハドウカ議事日程ヲ變更サレマシテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○村田保君 賛成

○山田卓介君 賛成

○小原重哉君 賛成

○子爵立花種恭君 賛成

○辻新次君 賛成

○子爵秋田映季君 賛成

○副議長(侯爵黑田長成君) (其他賛成ト呼フ者多シ)

更シテ開クト云フ動議ニ賛成者ガゴザイマスカラ此決ヲ採リマス、岡部子爵ノ此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザイマス、是ヨリ直ニ第二讀會ヲ開キマス、古社寺保存法第一條ヨリ……修正ノ第十條マデ問題ニ致シマス便宜上朗讀ヲ省略致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下做之)

古社寺保存法

第一條 古社寺ニシテ其ノ建造物及寶物類ヲ維持修理スルコト能ハサルモノハ保存金ノ下付ヲ内務大臣ニ出願スルコトヲ得

第二條 國費ヲ以テ補助保存スヘキ社寺ノ建造物及寶物類ハ歴史ノ證徴、製作ノ優秀、由緒ノ特殊ニ就キ内務大臣之ヲ定ム

第三條 建造物及寶物類ノ修理ハ地方長官之ヲ管理シ内務大臣之ヲ監督ス

第四條 社寺ニ屬スル寶物類ニシテ特ニ歴史ノ證徴トナリ又ハ製作ノ優秀ニ由リ國家ノ光輝トナルヘキモノハ内務大臣ニ於テ特ニ國寶ノ資格アルモノト定ムルコトヲ得

第五條 國費ヲ以テ補助修理シタル社寺ノ建造物中特ニ内務大臣ノ指定シタルモノ及國寶ハ賣買贈與交換シ及債務ノ擔保ニ供シ又ハ差押フルコトヲ得ス

前項ニ違背シテ爲シタル契約ハ無効トス

第六條 前條ノ物件ハ神職(官國幣社ニ在テハ宮司、府縣郷社ニ在テハ)若クハ住職之ヲ監守シ内務大臣ノ監督ニ屬スルモノトス

神職若クハ住職關員ノ場合ニ於テハ代理者之ヲ監守ス

第七條ニ依リ出陳シタル國寶ハ博物館長之ヲ監守ス

第七條 社寺ハ内務大臣ノ命ニ依リ國寶ヲ博物館ニ出陳スルノ義務アルモノトス

前項ニ依リ國寶ヲ出陳シタルトキハ國庫ヨリ補給金ヲ其ノ社寺ニ支給スルモノトス

第八條 神職住職若クハ其ノ代理者ニシテ内務大臣ノ命ニ違背シ國寶ヲ出陳セサルトキハ内務大臣ハ其ノ出陳ヲ強要スルコトヲ得

第九條 社寺ニ下付シタル保存金ハ地方長官之ヲ保管ス

保存金ハ豫算額ヲ以テ之ヲ下付ス但精算ノ上剩餘アルトキハ内務大臣ハ之ヲ還付セシムルコトヲ得

(特別委員修正案)

第一條 古社寺ニシテ其ノ建造物及寶物類ヲ維持修理スルコト能ハサルモノハ保存金ノ下付ヲ内務大臣ニ出願スルコトヲ得

第二條 國費ヲ以テ補助保存スヘキ社寺ノ建造物及寶物類ハ歴史ノ證徴、由緒ノ特殊又ハ製作ノ優秀ニ就キ古社寺保存會ニ諮詢シテ内務大臣之ヲ定ム

第三條 前條ノ建造物及寶物類ノ修理ハ地方長官之ヲ指揮監督ス

第四條 社寺ノ建造物及寶物類ニシテ特ニ歴史ノ證徴又ハ美術ノ模範トナルヘキモノハ古社寺保存會ニ諮詢シ内務大臣ニ於テ特別保護建造物又ハ國寶ノ資格アルモノト定ムルコトヲ得

第五條 特別保護建造物及國寶ハ之ヲ處分シ又ハ差押フルコトヲ得ス但内務大臣ノ許可ヲ得テ國寶ヲ公開ノ展覽場ニ出陳スルハ此ノ限ニ在ラス

第六條 前條ノ物件ハ神職(官國幣社ニ在テハ宮司、府縣郷社ニ在テハ)若クハ住職之ヲ監守シ内務大臣ノ監督ニ屬スルモノトス但内務大臣ノ許可ヲ經テ別ニ監守者ヲ置クコトヲ得

第七條 社寺ハ内務大臣ノ命ニ依リ帝室、官立又ハ公立ノ博物館ニ國寶ヲ出陳スルノ義務アルモノトス但祭典法用ニ必要ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ處分ニ對シテハ訴願ヲ爲スコトヲ得

第八條 前條ニ依リ國寶ヲ出陳シタル社寺ニハ命令ニ定メタル標準ニ從ヒ國庫ヨリ補給金ヲ支給スルモノトス

第九條 神職住職其ノ他ノ監守者ニシテ内務大臣ノ命ニ違背シ國寶ヲ出陳セサルトキハ内務大臣ハ其ノ出陳ヲ強要スルコトヲ得

第十條 社寺ニ下付シタル保存金ハ地方長官之ヲ管理ス

保存金ハ豫算額ヲ以テ之ヲ下付ス但精算ノ上剩餘アルトキハ内務大臣ハ之ヲ還付セシムルコトヲ得

○小幡篤次郎君 第十條マデ問題ニ御供シナリマスレバ第七條ノ「出陳スルノ義務アルモノトス」ト云フ文字ヲ「出陳スルコトヲ要ス」ト修正ニ相

成リタイト考ヘマス、ドウゾ賛成ヲ得タイ

○水之江浩君 小幡君ノ説ニ賛成

○瀧口吉良君 賛成

○平山成信君 私人委員デゴザイマスガ別ニ意見ハゴザイマセヌカラ小幡君ノ修正説ヲ賛成致シマス

○中村雅真君 賛成

○平田東助君 唯今七條ニ就テ修正説ノ動議ガ出テ居リマス、本員モ此七條ニ就テ修正ヲ致シタイト思ヒマスルガ此七條ノ修正ヲ御採リニナル際ニ當リマシテ本員モ亦修正ヲ致シタイト思ヒマス先刻質問致シタ所ニ據リマシテ此第五條ノ「及國寶ハ之ヲ處分シ」云々ト云フコトハ能ク分リマシテゴザイマスガ一體此原案モ甚ダ不完全デアリマスノデアリマシテ修正ニ相成リマシテ本員等ハ少シク此第五條ノ文章ガ完全致サヌヤウニ考ヘマスルガ能ク又思フテ見マスルト何分他ニ完全ナ案ヲ求ムルト云フコトガ餘程ムツカシイ點デゴザイマス、何トナレバ僅ニ數文字ヲ以テ各種ノ定義ヲ茲ニ意味セヌケレバナラヌ必要ガ起ツテ居ルノデゴザイマス左モナケレバ一々書カナクチャナラヌト云フコトニナリマス故ニ第五條ノ處分ト云フ字ハ暫ク茲ニ措キマシテ第七條ニ至リマシテ尙ホ又處分ト云フ字ヲ加ヘマスルト同ジ法律ノ中デ處分ト云フ字ニ二ツノ定義ヲ起シテ來ルト云フヤウナコトガ起リマスルガ此第七條ノ「前項ノ處分」ト云フ所ヲ「前項ノ命ニ對シテハ訴願ヲ爲スコトヲ得」ト致シマシタナラバ唯今ノ如ク同ジ文字ヲ一ツノ法案ニ於テ二ツノ異ナッタ定義ヲ爲スト云フヤウナコトガアリマスマイカト思ヒマス、故ニ其他ハ總テ委員修正ノ如クシテ猶ホ前項ノ處分ト云フ字ヲ前項ノ命ニ對シテハト云フ文字ニ修正ヲシタイ、此修正ヲ動議トシテ提出致シマシテ諸君ノ御賛成ヲ求メタイト思ヒマス

○富井政章君 賛成
○三浦安君 賛成
○森山茂君 賛成
○小原重哉君 賛成
○水之江浩君 賛成
○宮島誠一郎君 賛成
○瀧口吉良君 賛成
○子爵岡部長職君 賛成
○子爵一柳末德君 賛成
○澤簡德君 賛成
○子爵立花種恭君 唯今平田君ノ修正ハ私ハハッキリ聴取兼ネマシタガ「前項ノ命ニ對シテハ」ト云フノニ相違アリマセヌカ
○平田東助君 サウデス
○男爵中川與長君 小幡君平田君兩君ノ修正ニ賛成致シマス

○男爵小松行正君 小幡君ニ質問致シマスガ出陳スルコトヲ要スト言ヒマスト必ズシモ出サセヤウト云フノデゴザイマスカ出サヌナラヌノデゴザイマス
○小幡篤次郎君 出スベキモノト云フノデアリマス
○男爵小松行正君 若シ出サヌトキニハ義務ガアルト云フコトニナルノデゴザイマスカ
○小幡篤次郎君 サウデス
○男爵小松行正君 本員ハ御賛成シタウゴザイマスケレドモ何分要スルデハ言葉ガ軟カデアリマス、必ズ出サヌナラヌト嚴シクシマセヌト容易ニ出シマセヌ、ソレ故ニ「義務アルモノトス」ト嚴シイ言葉ガ使ッテアルノデ初テ働ヲ生ズルノデアラウト思ヒマスカラ本員ハ此修正ニハ不賛成シマス
○子爵來島通簡君 小幡君ニ賛成
○渡邊甚吉君 小幡君平田君ニ賛成
○佐藤清右衛門君 小幡君ニ賛成
○吉村角次郎君 小幡君平田君兩説ニ賛成
○男爵西五辻文仲君 マダ小幡君ノ修正ニ定數ノ賛成ハアリマセヌカ
○副議長(侯爵黑田長成君) マダゴザイマセヌ
○男爵西五辻文仲君 ツレデヤ拙者モ小幡君ニ賛成シマス
○根岸武香君 小幡君ト平田君ニ賛成
○宮崎總五君 平田君ニ賛成
○澤原爲綱君 小幡君ト平田君ニ賛成
○男爵渡邊清君 平田君ニ賛成
○子爵立花種恭君 平田君ニ賛成

(其他) 平田君ニ賛成「ト呼フ者多シ」
○副議長(侯爵黑田長成君) チョット申シマスガ平田君ノ修正ニハ定規ノ賛成ガゴザイマス
○村田保君 本員ハ矢張是ハ原案ノ儘ノ方ガ宜イト思ヒマス折角小幡君ノ説ガ成立ツタヤウデゴザイマスガ是ハ義務ト云フコトハ案ニ……
○副議長(侯爵黑田長成君) チョット村田君ニ申シマスガ平田君ノ修正ニハ定規ノ賛成ガゴザイマシタガ小幡君ノ修正説ハマダ定規ノ賛成ガゴザイマセヌ
○村田保君 サウデゴザイマスカ
○富井政章君 未ダ足りナケレバ私モ賛成致シマス
○宮崎總五君 未ダ足りナケレバ私モ賛成致シマス
○山田卓介君 賛成

(其他) 賛成「ト呼フ者多シ」
○副議長(侯爵黑田長成君) 小幡君ノ修正ニハ定規ノ賛成ガゴザイマシタ
○村田保君 サウデスカ、ソレデハ本員ハ是ハ矢張義務ガアルコトニシナケ

レバナラス、義務ノアルモノトシテ置ク方ガ宜イ、若シ是ガ出シマセヌデ内務大臣ガ是非出セト云フトキニ出サヌトキニハ此第九條ニ於キマシテ「出陳ヲ強要スルコトヲ得」ト云フコトガアルサウシテ見マスト若シ出シマセヌトキニハ構ハナイ手ヲ擱ヘテモ出サセルト云フコトニナツテ居ル、サウシテ見マスト是ハ當然出サナケレバナラス義務ガアルモノト云フコトヲ明ニシテ置ク方ガ宜シイ、又此文章上ニ於キマシテモ「要ス」デハ誠ニ前後ガ能ク貫徹シナイヤウニ思ヒマス、ソコデ七條ヲ讀ンデ見マス「社寺ハ内務大臣ノ命ニ依リ帝室官立又ハ公立ノ博物館ニ國寶ヲ出陳ヲ要ス但祭典法用ニ必要ナルモノハ此限ニ在ラス」ト云フコトニナリマスカラ是ハ矢張「義務アルモノトス」トシテ置ク方ガ宜イノデアリマスカラ是ハ原案ノ儘ニシテ置キタイ

○副議長(侯爵黒田長成君) 決議ノ致方ハ區分致シテ極メマス積デゴザイマス、先ヅ第一條ヨリ第六條マデ委員ノ修正ニ付イテ決ヲ採リマス第一條ヨリ第六條マデ委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 多數、委員ノ修正ニ決シマス、ソレカラ第七條ニ付キマシテハ第一項ト第二項ト各、修正説ガ出テ居リマスカラ順次ニ決ヲ採リマス、先ヅ第七條ノ小幡君ノ修正説ニ附イテ決ヲ採リマス

○久保田讓君 チョット此七條ニ附イテハ本員モ少シ申シタイデスガ……

○副議長(侯爵黒田長成君) 久保田君

○久保田讓君 先刻此特別委員カラモ報告ガゴザイマセタガ「帝室官立又ハ公立」ト云フ此帝室ト云フ字ハアツテモナクツテモ宜カラウト云フヤウナ委員自身カラモ言ハレタデアリマスガ本員ハ無論ハ不用ト存ズル、帝室ト云フ二字ハ刪リタイ、此コトハ官立又ハ公立ト申シマスレバ帝室ノ博物館モ無論其中ニ含ムコトニナラウト思フ、若シ茲ニ帝室ト云フ字ガアリマスルト他ノ法律ト抵觸スルコトガ出來ヤウカト思ヒマス、他ノ教育ニ關スル法令徴兵令或ハ集會條例等ニ官立又ハ公立ノ學校ト云ヤコトガゴザイマス、ソレデ學習院杯ガ矢張其官立學校ト云フ中ニ這入ツテ居ツテ別段其帝室ノ學校ト云フヤウナ文字ハ使ツテナイ、若シ茲ニ改メテ帝室ノ博物館ト云フ文字ガ這入リマスト他ノ法律ニ帝室ト云フ字ガナイノハ矢張其華族學校ナドハ這入ラスト云フコトニナルヤウナ譯デ甚ダ不權衡ニナリマスカラ此帝室ト云フ字ハ寧ロナイ方ガ却ツテ宜カラウト思フ、特別委員ノ二三ノ諸君モ矢張御同意ノヤウデゴザイマスカラ之ヲ刪リタイト云フ勸議ヲ提出致シマス

○西村亮吉君 賛成

○三浦安君 賛成

○水之江浩君 賛成

○何禮之君 賛成

○梅原修平君 賛成

○根岸武香君 賛成

○小原重哉君 賛成

○南郷茂光君 久保田君ノ修正ニ賛成

○富井政章君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○澤簡德君 賛成

○子爵島居忠文君 賛成

○兒玉少介君 賛成

○男爵西五辻文伸君 賛成

○宮島新吉君 賛成

○角田林兵衛君 賛成

○渡邊甚吉君 賛成

○瀧口吉良君 賛成

○中村雅真君 賛成

○平山成信君 唯今ノ久保田君ノ御趣意デゴザイマスレバ委員ニ於テハ異存ハゴザリマセヌ私モ賛成致シマス

○子爵平松時厚君 賛成

○副議長(侯爵黒田長成君) 久保田君ノ修正説ニハ定規ノ賛成ゴザイマシ

○男爵渡邊清君 チョット久保田君ニ御尋シマスガ博物館ト云フノハ官立ノ博物館ト云フノハ何所カニアルノデゴザイマセウカ、本員ナドガ承ルニハ奈良ト京都ト云フノハ帝室ノ御設立デアルト云フノデスガ……チョット伺ヒタイ

○久保田讓君 私ハ此原案者デゴザイマセヌカラ説明ハ出來マセヌ

○富井政章君 本員ガ賛成致シマシタ譯ハ如何ニモ今日ハ京都ノ博物館ト奈良ノ博物館トノ帝室ノ博物館シカナイノデアリマスケレドモソレハ矢張官立ノ博物館ト云フノガ正カラウト云フ御見解ニ賛成シタノデアル

○副議長(侯爵黒田長成君) 第七條ノ第二項ニ附イテ決ヲ採リマスガ先ヅ小幡君ノ修正説ニ附イテ採決致シマス、小幡君ノ修正説ハ「出陳スルノ義務アルモノトス」ト云フノ「出陳スルコトヲ要ス」ト修正ニナリタイト云フノデアリマス、ソレカラ久保田君ノ修正説ハ「帝室」ノ二字ヲ刪除スルト云フ修正デアリマス、ソレデ先ヅ小幡君ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○男爵西五辻文伸君 チョット伺ヒマスガ小幡君ノ修正ニ同意シテ仕舞ヒマシテ後デ又刪ルト云フ方ヲ御採リニナルノデゴザリマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 左様、小幡君ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數デゴザリマス、次ニ久保田君ノ修正ニ同意

ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數デゴザリマス、次ニ久保田君ノ修正ニ同意

ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數デゴザリマス、次ニ久保田君ノ修正ニ同意

ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數デゴザリマス、次ニ久保田君ノ修正ニ同意

ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數デゴザリマス、次ニ久保田君ノ修正ニ同意

ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數デアリマス、是ヨリ委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

(「モウ一ツアル」ト呼フ者アリ)

(「平田君ノガアル」ト呼フ者アリ)

○三浦安君 第二項ガアリマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 唯今ノハ少シ申シ違ヒマシタ第二項ノ平田君ノ修正即チ委員修正ノ上ニ猶ホ前項ノ處分トアルヲ前項ノ命ト修正スルト云フ説ニ附イテ採決致シマス、之ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザリマス、次ニ修正ノ第八條ヨリ第十條マデ委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザイマス次ニ原案ノ第十條ヨリ終マデヲ問題ニ供シマス、朗讀ヲ省キマス

第十條 保存金下付ノ目的物消滅スルカ若クハ保存金ヲ受ケタル社寺廢止トナリタル場合ニ於テハ内務大臣ハ他ノ建造物及實物類ノ爲ニ其ノ保存金ヲ處分スルコトヲ得

第十一條 社寺ニ下付シタル保存金ハ差押フルコトヲ得ス

第十二條 年度内ニ支出ヲ終ラサル古社寺保存費ハ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第十三條 第九條乃至第十一條ノ保存金ハ其ノ利子ヲ包含スルモノトス

第十四條 監守者其ノ監守スル所ノ國寶ヲ竊取シ若クハ他ノ物件ト變換シ又ハ第五條ノ規程ニ違背シタルトキハ輕懲役ニ處ス監守者ニアラスト雖其ノ共犯者亦同シ

第十五條 物件ナルコトヲ知リテ之ヲ買受ケ讓受ケ質取り交換シ寄藏シ若クハ牙保ヲ爲シタル者ハ刑法第三百九十九條ノ例ニ依リ處斷ス

第十六條 監守者怠慢ニ由リ國寶ヲ亡失シ毀損シ若クハ第五條ニ依リ内務大臣ノ指定シタル建造物ヲ燒失シタルトキハ五十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

前項ノ過料ハ國稅滯納處分法ニ依リ徵收スルコトヲ得

第十七條 第七條ニ依リ出陳シタル國寶ノ監守者故意怠慢ニ由リ國寶ヲ亡失若クハ毀損シタル場合ニ於テ損害ヲ賠償スルノ資力ナキトキハ國庫ニ於テ之ヲ賠償スルモノトス但國庫ノ賠償ニ關シテハ裁判所ニ出訴スルコトヲ得

附則

第十七條 本法施行前國費ヲ以テ補助修理シタル社寺ノ建造物及社寺ニ下付シタル保存金ニ關シ内務大臣ハ本法ヲ適用スルコトヲ得

第十八條 第四條ニ該當スル物件ハ社寺ニ屬セサルモノト雖所有者ノ請求ニ依リ本法第七條ヲ準用スルコトヲ得

第十九條 名所舊蹟ニ關シテハ社寺ニ屬セサルモノト雖仍本法ヲ準用スルコトヲ得

第二十條 本法施行上必要ナル規程ハ命令ヲ以テ定ム

(特別委員修正案)

第十條 削除

第十一條 社寺ニ下付シタル保存金ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

第十二條 削除

第十三條 第十條及第十一條ノ保存金ハ其ノ利子ヲ包含スルモノトス

第十四條 監守者其ノ監守スル所ノ國寶ヲ竊取シ、毀棄シ、隱匿シ若クハ他ノ物件ト變換シ又ハ第五條ノ規定ニ違背シタルトキハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第十五條 物件ナルコトヲ知リテ之ヲ讓受ケ、借受ケ、擔保ニ取り、寄藏シ若クハ其ノ牙保ヲ爲シタル者ハ六月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十六條 監守者怠慢ニ由リ國寶ヲ亡失若クハ毀損シタルトキハ五十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

過料ハ地方裁判所ノ命令ヲ以テ之ヲ科ス但其ノ命令ニ對シテハ即時抗告ヲ爲ス

過料ハ檢事ノ命令ニ依リ之ヲ徵收ス其ノ徵收ニ付テハ民事訴訟法第六編ノ規定ヲ準用ス但此ノ場合ニ於ケル檢事ノ命令ハ執行文ノ效力ヲ有ス

第十五條 第七條ニ依リ出陳シタル國寶ノ監守者故意怠慢ニ由リ國寶ヲ亡失若クハ毀損シタルトキハ國庫ハ命令ニ定メタル評價ノ方法ニ從ヒ其ノ損害ヲ賠償スルモノトス但其ノ評價額ニ關シテハ裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十六條 本法ニ定メタル保存金及補給金トシテ國庫ヨリ支出スヘキ金額ハ一ヶ年拾五萬圓乃至貳拾萬圓トス

第十七條 本法施行前社寺ニ下付シタル保存金ニ關シ内務大臣ハ第十條乃至第十二條ヲ適用スルコトヲ得

第十八條 第四條ニ該當スル物件ハ社寺ニ屬セサルモノト雖所有者ノ請求アルトキハ第七條第一項ニ掲ケタル博物館ニ出陳スルコトヲ許可シ之ニ補給金ヲ支給スルコトヲ得

第十九條 名所舊蹟ニ關シテハ社寺ニ屬セサルモノト雖仍本法ヲ準用スルコトヲ得

第二十條 本法施行上必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

○子爵堀田正養君 本員ハ此十六條デアリマスガ、是ハ先刻政府委員ニ問ヒ

マシタケレドモ兩院ヲ通過スレバ義務ガアルトカ何ト云フ極ク曖昧ナ答辯
デアリマシタ、併シ大藏省ノ政府委員ノ言ハレルニハ本年ハドウシテモ財源
ガナイカラ出スコトハ出來ヌト明言サレテ居ル、サウスルト出來ナイト云フ
コトヲ知リツ、吾々ガ此法案ガ通過セシムルト云フコトハ少シ本員ハ快ク思
ヒマセヌ、且ツ又一箇年十五萬圓乃至二十萬圓トアリマスガ其年ニ依ッテ或
ハ二萬圓カ三萬圓デ済ムコトモアリマセウガ又天災其他ニ於テ堂宇ノ破損等
ヲ修繕スルヤウナ必要ナトキハ或ハモウ少シ金ガ要ルコトガアルカモ知レヌ
ト思フ、故ニ此十六條ハ政府原案ノ通ニシテ置イテ年々其年ニ豫算ナラ豫算
又ハ別ニ追加ナリ何ナリニシテ今日ノ内務省ノ五萬圓ト云フ額ト同シヤウナ
年々ノ必要ヲ見テ豫算ヲ提出スル方ガ却テ宜カラウト思ヒマス、本員ハ此十
六條ハ……矢張委員ノ修正ノ十六條ハ削除シタイト云フ考デアリマス、是ダ
ケヲ提出シテ置キマス

○男爵渡邊清君 堀田君ニ賛成

○三浦安君 賛成

○男爵小松行正君 本員モ堀田君ニ賛成ヲ致シマス

○吉村角次郎君 本員モ堀田君ニ賛成致シマス

○副議長(侯爵黒田長成君) チョット申シマスガ削除説ハ別段定規ノ賛成ガ
ナクトモ成立ッテ居ル譯デアリマス

○富井政章君 削除説ニ對シテチョット一言述べたいと思ヒマス、本員モ金
額ノコトヲ法律ノ上ニ掲グルノハ餘リ體裁ノ宜イコト、ハ思ハナイノデアリ
マスガ此法律ヲ實際ニ行ハウト思ヘバドウシテモ是ダケノ金ガ要ラウト云
フ其金ヲ豫定シテ置クコトガ實際ニ當デアラウト考ヘマス、此保存金トカ補
給金トカ云フモノハ随分巨額ニ達スルデアラウト思フ、然ルニ若シ此規定ガ
ナイトキニハ始終大藏省ハ拒ンデ實際ハ此法律ニ依ッテ達セントスル所ノ目
的ノ三分一モ五分一モ達スルコトガ出來ナイト考ヘルノデアリマス、ソレ故
ニ若シ此法律ヲ大體ニ於テ確定シスウ云フモノガ出來ルノガ宜イト云フコト
ガ諸君ノ御考デアレバ別ニ法律ニ斯ウ定メテ所ガ憲法違反ト云フコトデハナ
イノデアリマス、實際ニ成ルベク目的ヲ達スルヤウニシタ方ガ此趣意ヲ貫ク
デアラウト思ヒマス、其點ダケチヨット一言致シテ置キマス

○久保田讓君 私モ此事ニ就イテチヨット一言致シテ置キマス、私モ矢張此
十六條ハ削ラヌ方ガ宜カラウト思ヒマス、富井君ノ今申シタノトハ反對ノ方
デ申シテ置キタイト思ヒマス、此古社寺保存ノコトハドノ位費用ヲ掛ケルカ
實際ノナイコトデ若シ是ニ金額ヲ掲ゲテナカッタラバドノ位ノ金高ニ上ル
カ計リ難イコト、思ヒマスカラ本員ハ費用ヲ制限スルメニ茲ニ出シテ置ク
方ガ宜カラウト思フ其點デ賛成ヲ致シマス

○瀧口吉良君 私ハ此十六條ヲ修正致シマシテ「一箇年二十萬圓以內トス」
ト云フコトニシタイ、其理由ハ久保田君ガ御述ベニナッタ理由ト同ジコトデ
即チ積極ダケヲ極メテ置カスト往ケヌト思ヒマス、サウスルト消極ノ方ノ十

五萬圓以上ト云フ制限ガ除キマスト本年ノ豫算ノ上ニ於テ差障リモナシ又二
十萬圓以內ト云フ天井ガアリマスレバソレヨリ以上ハ出サナイト云フコトニ
ナリマシテ至極都合ガ宜カラウト考ヘマス、是マデ委員ノ御方ノ御説ナリ又
久保田君アタリノ御説モ考ヘマシテ彼是レ折衷シテ唯積極ダケヲ極メテ置イ
タラ宜カラウト考ヘマス、即チ「貳拾萬圓以內トス」ト云フコトニシタイト云
フ説デ、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○男爵西五辻文伸君 賛成

○森山茂君 賛成

○子爵曾我祐準君 本員モ瀧口君ニ賛成ヲ致シマス、ドウモソレガ一番宜サ
サウニ思ヒマス

○子爵板倉勝達君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○渡邊甚吉君 賛成

○子爵立花種恭君 賛成

○角田林兵衛君 賛成

○山崎慎三君 賛成

○伯爵冷泉爲紀君 賛成

○富井政章君 チョット提出者ニ伺ヒマスガ「貳拾萬圓以內トス」ト云フコ
トニナレバ先刻大藏次官ノ言ハレタ通毎年金ガナイカラ五萬圓シカ出セナイ
ト云フヤウナコトヲ毎年々々言ハレテモソレデ仕方ガナイ、其位ナラ斯ウ云
フ法律ヲ設ケナイ方ガ宜カラウト思フ、サウ云フ風ニシテ實際立法ノ目的ヲ
達スルコトガ出來ルモノデアリマセウカ

○瀧口吉良君 唯今富井君ノ御尋ニ就キマシテ御答ヲ申上ゲマス、此法案ト
云フモノハ即チ内務省ノ主管トシテ出マシタモノデゴザイマスカラシテ矢張
内務省ニ於キマシテ是ダケノ費額ハ是非三十一年度カラハ屹度大藏省ハ交渉
ヲシテ差出サセルト云フ答辯モ先刻内務省ノ政府委員ノ御説明ノ中ニアッタ
ヤウニ考ヘマス、決シテ大藏省ガドウシテモ五萬圓ヨリ以上ノモノハ差出サ
スト云フヤウナ意見ガアツテモ又内務省デモ此法律ハ實地ニ有要ナモノニシ
ヤウト云フ考カラ大藏省ヘ交渉ニナルト云フヤウナル所カラ相當ナコトニ三
十一年度カラ其額ヲ定ムルコトデアラウト信ズルノデゴザリマス

○平山成信君 此十六條ニ對シテ瀧口君ノ修正ガ出マシタガ私ハ前ニ申述ベ
マシタ通此法案ガ出マシタ以上ハ五萬圓デ往カスト云フコトハ分ッテ居ル、今
ノ瀧口君ノ二十萬圓以內ト云フコトニハ論ハアリマセヌガ十五萬圓ヲ取ッテ
シマフト云フノハ富井君ノ言ハレタ通或ハ今ノ儘ヨリ減サレテモ仕方ガナ
イ、十五萬ガ多過ぎルカラ或ハ十二萬圓十三萬圓ニスルト云フコトナレバ宜
イガ、マルツキリ取ッテシマフト云フコトニハ到底御同意ハ出來マセヌ
○村田保君 本員ハ堀田君ト全ク同感デアル、是ハ削ッテ置ク方ガ宜カラウ
ト思フ、何トナレバ今日ノ寺ノ數ハ全國デハ十七萬カラアル、ソレガ段々荒

廣シテ來ル、ソレデ隨分中ニハ非常ニ保存金ヲ掛ケマセヌデハ保存スルコト
ガ出來マセヌト考ヘルモノガアル、既ニ此法案ニ於キマシテ、特別保存ヲス
ルトカ内務大臣ガ諮詢會ヲ開イテスルトカ云ツテモ、實際保存ガ出來ヌト云
フコトニナツテハナラヌ、又物價ト云フモノハ年々騰貴シテ來マスルシ、豫メ
彼ノ金ヲ二十萬圓ト云フコトハ出來マセヌト思ヒマス、又時トスレバ百萬圓
モ掛ケナケレバナラヌト云フコトモアラウト思ヒマス、ソレニハ金ハ此所ニ
極メマセヌデ、此法案ガ出來マスレバ是非トモ保存金ト云フモノハ出サナケ
レバナラヌト云フコトハ此法律デ極メデアリマスカラ年々豫算ヲ定メテ其年
度ニ於テデレダケト云フコトヲ政府カラ要求シテ宜イ譯ト思ヒマスカラ此案
ハ矢張りテ置ク方ガ宜イト思ヒマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 先ヅ修正ノ第十一條ヨリ第十五條マデニ附イテ
採決致シマス委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザイマス、第十六條ニ就キマシテハ瀧
口君ヨリ修正説ガ出マシタケレドモマダ定規ノ贊成者ガゴザイマセヌ、ソレ
故第十六條ハ即チ……

(子爵曾我祐準君) 幾人リ贊成者ガゴザイマシタカト述フ

十二名ゴザイマシタ
(子爵曾我祐準君) 二十名ガ定數デゴザイマスカト述フ

左様デゴザイマス、第十六條、委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザイマス附則第十七條ヨリ第二十條マ
デ委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザイマス、第二讀會ハ是ニテ了リマシ
タ

○子爵小笠原壽長君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ希
望致シマス

○子爵曾我祐準君 贊成

○伯爵冷泉爲紀君 贊成

(贊成)ト呼フ者多シ

○副議長(侯爵黑田長成君) 小笠原子爵ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀
會ヲ開クト云フコトニ就テハ別ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 然ラバ直ニ第三讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省キマ
ス

古社寺保存法

第一條 古社寺ニレテ其ノ建造物及寶物類ヲ維持修理スルコト能ハサルモ

ノハ保存金ノ下付ヲ内務大臣ニ出願スルコトヲ得

第二條 國費ヲ以テ補助保存スヘキ社寺ノ建造物及寶物類ハ歴史ノ證徴、
由緒ノ特殊又ハ製作ノ優秀ニ就キ古社寺保存會ニ諮詢シテ内務大臣之ヲ
定ム

第三條 前條ノ建造物及寶物類ノ修理ハ地方長官之ヲ指揮監督ス

第四條 社寺ノ建造物及寶物類ニシテ特ニ歴史ノ證徴又ハ美術ノ模範トナ
ルヘキモノハ古社寺保存會ニ諮詢シテ内務大臣ニ於テ特別保護建造物又ハ

國寶ノ資格アルモノト定ムルコトヲ得

第五條 特別保護建造物及國寶ハ之ヲ處分シ又ハ差押フルコトヲ得ス但内
務大臣ノ許可ヲ得テ國寶ヲ公開ノ展覽場ニ出陳スルハ此ノ限ニ在ラス

第六條 前條ノ物件ハ神職(官國幣社ニ在テハ宮司府縣神社ニ在テハ)
若クハ住職之ヲ監守シ内務大臣ノ監督ニ屬スルモノトス但内務大臣ノ許可ヲ
經テ別ニ監守者ヲ置クコトヲ得

第七條 社寺ハ内務大臣ノ命ニ依リ官立又ハ公立ノ博物館ニ國寶ヲ出陳ス
ルノ義務アルモノトス但祭典法用ニ必要ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ命ニ對シテハ訴願ヲ爲スコトヲ得

第八條 前條ニ依リ國寶ヲ出陳シタル社寺ニハ命令ニ定メタル標準ニ從ヒ
國庫ヨリ補給金ヲ支給スルモノトス

第九條 神職住職其ノ他ノ監守者ニシテ内務大臣ノ命ニ違背シ國寶ヲ出陳
セサルトキハ内務大臣ハ其ノ出陳ヲ強要スルコトヲ得

第十條 社寺ニ下付シタル保存金ハ地方長官之ヲ管理ス

保存金ハ豫算額ヲ以テ之ヲ下付ス但精算ノ上剩餘アルトキハ内務大臣ハ
之ヲ還付セシムルコトヲ得

第十一條 社寺ニ下付シタル保存金ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

第十二條 第十條及第十一條ノ保存金ハ其ノ利子ヲ包含スルモノトス

第十三條 監守者其ノ監守スル所ノ國寶ヲ竊取シ、毀棄シ、隱匿シ若クハ他
ノ物件ト變換シ又ハ第五條ノ規定ニ違背シタルトキハ二年以上五年以下

ノ重禁錮ニ處ス

第五條ノ物件ナルコトヲ知リテ之ヲ讓受ケ、借受ケ、擔保ニ取リ、寄藏シ若
クハ其ノ牙保ヲ爲シタル者ハ六月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以上

五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第十四條 監守者怠慢ニ由リ國寶ヲ亡失若クハ毀損シタルトキハ五十圓以
上五百圓以下ノ過料ニ處ス

過料ハ地方裁判所ノ命令ヲ以テ之ヲ科ス但其ノ命令ニ對シテハ即時抗告
ヲ爲スコトヲ得

過料ハ檢事ノ命令ニ依リ之ヲ徵收ス其ノ徵收ニ付テハ民事訴訟法第六編
ノ規定ヲ準用ス但此ノ場合ニ於ケル檢事ノ命令ハ執行文ノ效力ヲ有ス

第十五條 第七條ニ依リ出陳シタル國寶ノ監守者故意怠慢ニ由リ國寶ヲ亡失若クハ毀損シタルトキハ國庫ハ命令ニ定メタル評價ノ方法ニ從ヒ其ノ損害ヲ賠償スルモノトス但其ノ評價額ニ關シテハ裁判所ニ出訴スルコトヲ得ス

第十六條 本法ニ定メタル保存金及補給金トシテ國庫ヨリ支出スヘキ金額ハ一ヶ年拾五萬圓乃至貳拾萬圓トス

附則

第十七條 本法施行前社寺ニ下付シタル保存金ニ關シ内務大臣ハ第十條乃至第十二條ヲ適用スルコトヲ得

第十八條 第四條ニ該當スル物件ハ社寺ニ屬セサルモノト雖所有者ノ請求アルトキハ第七條第一項ニ掲ケタル博物館ニ出陳スルコトヲ許可シ之ニ補給金ヲ支給スルコトヲ得

第十九條 名所舊蹟ニ關シテハ社寺ニ屬セサルモノト雖仍本法ヲ準用スルコトヲ得

第二十條 本法施行上必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

○副議長(侯爵黑田長成君) 採決致シマス、第二讀會ノ決議案即チ原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザイマス可決セラレマシテゴザイマス、次ニ第三、鐵道敷設法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

(子爵岡部長職君演壇ニ登ル)

○子爵岡部長職君 此鐵道敷設法中ノ改正案デゴザイマスルガ此案ハ極ク簡單ナ案デアリマスノミナラズ、第九讀會ニ於キマシテ此問題ハ本院大多數ヲ以テ通過致シマシタル問題デアル、是ハ他ノ豫定線ト共ニ一案ニナツテ出マシタガタメニ衆議院ト協議會ノ結果トシテ實ハ潰レマシタノデアリマス、併ナガラ此部分ニ就テハ一向兩院トモ異存ノナカッタノデアリマス、此改正ハ即チ中央線及北陸線ノ聯絡線ト申スル所デ、現行法ニ依リマスルト、「岐阜縣下岐阜若ハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道」ト斯ウナツテ居リマスノ此修正案ニ依リマスルト、項ヲ二ツニ分チ、一ハ「岐阜縣下多治見ヨリ岐阜ニ至ル鐵道」ト云フ一項ヲ新ニ入レルコトニナリマス、是ハ東海道線ノ名古屋カラ岐阜ニ參リマス線ガアリマス所ヘ既ニ定ツテ居リマス所ノ中央線即チ八王子カラシテ名古屋ニ至ル線ガ參ル、其中央線ノ線路中ニ即チ多治見ト申ス所ガアリマス、ソレデ此「岐阜縣下多治見ヨリ岐阜ニ至ル鐵道」ト申シマスルト此中央線ハ多治見カラ名古屋ノ方ヘ指シテ斯ウ參リ東海道線ハ名古屋カラ岐阜ノ方ヘ指シテ斯ウ參ルノデ、ソレデ岐阜ヨリ多治見マデト云フモノハ、斯ウ名古屋ヘ集ル所ノ此位ノ所ヲ横ニ聯絡スル

ノデ、ソレハ即チ軍事上ニ於キマシテモ其他總テ交通上大イニ必要ヲ感ズルト云フコトデアラフテ委員會ニ於キマシテモ速ニ可決スベシト決シマシタノデアリマス、ソレカラ其第二項ノ即チ現行法ニアリマスル所ノモノニ少シク修正ヲ致シタト云フノハ現行法ニ依リマスルト、「岐阜縣下岐阜若ハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道」ト云フコトニナツテ居ルノ今度唯今申上デマシタ所ノ第一項ノ多治見カラシテ岐阜ニ至ル此間ヲ聯絡スル所ノ線ガ出來マシタ以上ニハ此岐阜カラ起ツテ高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ルヨリハ岐阜ト多治見ニ出マスル所ノ線路中カラ分岐シテサウシテ富山縣ノ方ニ至ルノガ便利デアルト云フノデアアル、ソレデ之ヲ改正案ニ載ツテ居リマスル所ノ文面ニ依リマスルト「前項ノ線路ヨリ分岐シ若ハ長野縣下」云々ト、是ハ現行法ト同ジコトデアアル、ソレカラ岐阜縣下岐阜ヨリ分岐シ若ハト云フ所ヲ「前項ノ線路ヨリ分岐シ」ト云フコトニナリマス、サウスルト丁度唯今申シタル通岐阜ヨリ多治見ニ至ル所ハ或ル點カラシテ分岐スルト云フコトニナル、委員會ニ於キマシテハ一向異議モアリマセズ、全會一致ヲ以テ速ニ可決致シマシタ譯デアリマス、極ク簡單ナル案デアリマスカラシテ願ハクハ滿場ノ諸君ニ於キマシテモドウカ讀會ヲ省略シテ御速決ヲ願ヒタイト希望致シマス

○男爵小松行正君 讀會省略ニ贊成致シマス

○子爵小笠原壽長君 贊成

○子爵本莊壽臣君 贊成

○渡邊甚吉君 贊成

○子爵日野西光善君 贊成

○南鄉茂光君 贊成

○辻新次君 贊成

○箕作麟祥君 贊成

○山田卓介君 贊成

○三浦安君 贊成

○副議長(侯爵黑田長成君) 岡部子爵ノ讀會省略ノ說ニハ贊成者ガゴザリマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略致シマス、直チニ採決イタシマス、本案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 多數デゴザリマス、可決ニナリマシテゴザイマス 次ニ傳染病豫防法案政府提出第一讀會ヲ開キマス、提出文ノミヲ朗讀致サセマス

(改本書記官朗讀)

傳染病豫防法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十年三月四日

内閣總理大臣伯耆松方 正義
拓殖務大臣子爵高島綱之助
内務大臣伯爵樺山 資紀

傳染病豫防法

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

第一條 此ノ法律ニ於テ傳染病ト稱スルハ虎列刺、赤痢、腸空扶私、痘瘡、瘰癧、疥癩、猩紅熱、實布埵利亞(格魯布)及「ペスト」ヲ謂フ

前項ニ掲クル八病ノ外此ノ法律ニ依リ豫防方法ノ施行ヲ必要トスル傳染病アルトキハ主務大臣之ヲ指定ス

第二條 傳染病流行シ若クハ流行ノ虞アルトキハ地方長官(東京府ハ警視總監)ハ其ノ傳染病ノ疑似症ニ對シ此法律ノ全部若クハ一部ヲ適用スルコトヲ得

第三條 醫師傳染病患者ヲ診斷シ若クハ其ノ死體ヲ檢案シタルトキハ其ノ家人ニ消毒方法ヲ指示シ且直チニ患者若クハ死體所在地ノ警察官吏、市長、町村長、區長、戸長、檢疫委員又ハ豫防委員ニ届出ヘシ其ノ轉歸ノ場合亦同シ

第四條 傳染病又ハ其疑アル患者若クハ其死者アリタル家ニ於テハ速カニ醫師ノ診斷若クハ檢案ヲ受ケ又ハ直チニ其所在地ノ警察官吏、市長、町村長、區長、戸長、檢疫委員又ハ豫防委員ニ届出ヘシ

前項ノ届出ヲ爲スヘキ義務者ハ一般民家ニ在リテハ戸主若クハ之ニ代ルヘキ者、公立學校、病院、製造所、會社、各種事務所、貸席、集會所、興行場等ニ在リテハ其ノ管理人又ハ代理者トス

第五條 傳染病患者アリタル家ニ於テハ醫師又ハ當該吏員ノ指示ニ從ヒ清潔方法及消毒方法ヲ行フヘシ

當該吏員ハ傳染病豫防上必要ト認ムルトキハ其ノ近隣ノ家又ハ患者ト交通ヲ爲シタル家ニモ清潔方法及消毒方法ヲ施行セシムヘシ

第六條 清潔方法及消毒方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 第四條第二項ニ掲ケタル者ハ傳染病豫防上當該吏員又ハ醫師ノ指示シタル清潔方法及消毒方法ヲ施行スヘキモノトス

第八條 傳染病豫防上必要ト認ムルトキハ當該吏員ハ傳染病患者ヲ傳染病院又ハ隔離病舎ニ入ラシムヘシ

健康者ノ隔離ヲ必要ト認ムルトキハ隔離所ニ入ラシムルコトヲ得

第九條 當該吏員ニ於テ必要ト認ムルトキハ一定ノ日時間傳染病患者アリタル家及其ノ近隣ノ家ノ交通ヲ遮斷スルコトヲ得

第十條 傳染病患者及其ノ死體ハ當該吏員ノ認可ヲ經ルニアラサレハ他ニ移スコトヲ得ス

第十一條 傳染病毒ニ汚染シ若クハ汚染ノ疑アル物件ハ當該吏員ノ認可ヲ受クルニアラサレハ使用、授與、移轉、遺棄又ハ洗滌スルコトヲ得ス

第十二條 傳染病患者ノ死體ハ當該吏員ニ於テ充分ト認ムル消毒方法ヲ施シタル後ニアラサレハ埋葬スヘカラス

傳染病患者ノ死體ハ醫師ノ檢案ニ依リ當該吏員ノ認可ヲ經テ二十四時間内ニ埋葬スルコトヲ得

第十三條 傳染病患者ノ死體ハ火葬スヘシ但シ所轄警察署ノ許可ヲ經タルトキハ此ノ限ニアラス此ノ場合ニ於テハ其ノ土葬シタル死體ハ三箇年ヲ經過スルニアラサレハ他ニ改葬スルコトヲ得ス

第十四條 死體ヲ既ニ埋葬シ若クハ埋葬セントスル場合ニ於テ傳染病患者タリシ疑アルトキハ當該吏員ハ死體及家屋其ノ他ニ對シ更ニ相當ノ處分ヲ爲サシムルコトヲ得

第十五條 傳染病豫防上必要ト認ムルトキハ當該吏員ハ其ノ事由ヲ戸主又ハ管理人ニ告知シ家宅内ニ立入ルコトヲ得但シ當該吏員タルノ證票ヲ示スヘシ

第十六條 傳染病流行シ若クハ流行ノ虞アルトキハ市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ市制第六十一條町村第六十五條ニ依リ傳染病豫防委員ヲ置キ檢疫豫防ノ事ニ從ハシムヘシ但シ市町村會ノ議決ニ依リノ限ニアラス

豫防委員ニハ醫師ヲ加フヘシ其ノ醫師ヨリ出ツル者ハ市町村長之ヲ任免ス

第十七條 市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ市町村内ノ清潔方法及消毒方法ヲ施行シ醫師其ノ他豫防上必要ナル人員ヲ雇入レ及器具、藥品其ノ他ノ物件ヲ設備スヘシ

第十八條 市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ傳染病院又ハ隔離病舎隔離所ヲ設置シ傳染病患者又ハ隔離者ノ收容ニ充ツヘシ

第十九條 傳染病流行シ若クハ流行ノ虞アルトキハ地方長官(東京府ハ警視總監)ハ檢疫委員ヲ置キ檢疫豫防ニ關スル事務ヲ擔任セシメ及特ニ船舶汽車ノ檢疫ヲ行ハシムルコトヲ得

船舶汽車ノ檢疫ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ船舶若クハ其ノ船舶汽車ノ乘客乗組人ニシテ病毒感染ノ疑アル者ヲ必要ノ日時間停留シ及無償ニテ當該吏員又ハ醫師ヲ船舶汽車中ニ乗込マシムルコトヲ得

船舶汽車ノ檢疫ニ於テ發見シタル患者ハ其ノ地市町村立ノ傳染病院又ハ隔離病舎ニ收容治療セシムルコトヲ得市町村ハ相當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得但シ之カ爲メ特ニ要シタル費用ハ地方長官ニ請求スルコトヲ得

前各項ノ外検査委員ノ設置及船舶汽車ノ検査ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 地方長官(東京府ハ)ハ傳染病豫防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ノ全部又ハ一部ヲ施行スルコトヲ得

一 傳染病患者ノ有無ヲ検査セシムル事

二 市街村落ノ全部又ハ一部ノ交通ヲ遮斷スル事

三 祭禮供養興行集會等ノ爲メ人民ノ群集スルコトヲ制限シ若クハ禁止スル事

四 古著、襪履、古綿其ノ他病毒傳播ノ虞アル物件ノ出入ヲ制限シ若クハ停止シ又ハ其ノ物件ヲ廢棄スル事

五 傳染病毒傳播ノ媒介トナルヘキ飲食物ノ販賣授受ヲ禁止シ又ハ之ヲ廢棄スル事

六 船舶ニ醫師ノ雇入ヲ命シ又ハ汽車船舶若クハ多數人民ノ集合スル場所ニ豫防上必要ノ設備ヲ爲サシムル事

七 清潔方法消毒方法ノ施行ヲ命シ及井戸、上水、下水、溝渠、芥溜、厠園ノ新設改築變更若クハ廢止ヲ命シ又ハ其ノ使用ヲ停止スル事

八 一定ノ場所ノ漁撈、游泳又ハ其ノ水ノ使用ヲ必要ナル日時間制限シ若クハ停止スル事

第二十一條 諸官廳、集治監及官立ノ學校、病院、製作所等ニ傳染病發生シ若クハ發生ノ虞アルトキハ其ノ首長ハ地方長官(東京府ハ)ト協議シ此ノ法律ニ準シ豫防方法ヲ施行スヘシ

陸海軍所屬ノ部隊軍艦等ニ傳染病發生シ若クハ發生ノ虞アルトキハ其ノ首長ハ此ノ法律ニ準シ各其ノ所定ノ規則ニ依リ又必要アル場合ニ於テハ地方長官(東京府ハ)ト協議シ豫防方法ヲ施行スヘシ

第二十二條 左ノ諸費ハ市町村ノ負擔トス
一 豫防委員ニ關スル諸費

二 市町村ニ於テ施行スル清潔方法消毒方法及種痘ニ關スル諸費

三 豫防救治ノ爲メ雇入タル醫師其ノ他ノ人員並豫防上必要ナル器具藥品其ノ他ノ物件ニ關スル諸費

四 傳染病院隔離病舎隔離所及消毒所ニ關スル諸費

五 豫防救治ニ從事シタル者ニ給スヘキ手當、療治料及其ノ遺族ニ給スヘキ救助料吊祭料

六 第九條ニ依レル交通遮斷ニ關スル諸費及交通遮斷ノ爲メ自活シ能ハサル者ノ生活費

七 市町村內ニ於テ發見セル傳染病貧民患者並死者ニ關スル諸費
其ノ他市町村ニ於テ施行スル豫防事務ニ關スル諸費

第二十三條 左ノ諸費ハ府縣稅又ハ地方稅ノ負擔トス

一 検査委員ニ關スル諸費

二 船舶又ハ汽車ノ検査ニ關スル諸費

三 第二十條第二ニ依レル交通遮斷ニ關スル諸費及交通遮斷ノ爲メ自活シ能ハサル者ノ生活費其ノ他府縣ニ於テ施行スル豫防事務ニ關スル諸費

第二十四條 地方長官ハ衛生組合ヲ設ケ清潔方法消毒方法其ノ他傳染病ノ豫防救治ニ關シ規約ヲ定メシメ之ヲ履行セシムルコトヲ得

市町村ハ其ノ市町村內ノ衛生組合ニ於テ傳染病豫防救治ノ爲メ支出スル費用ノ全部又ハ一部ヲ補助スルコトヲ得

第二十五條 第二十二條第二十四條第二項ノ支出ニ對シテハ命令ノ規定ニ從ヒ府縣稅又ハ地方稅ヨリ市町村ニ補助スヘシ

第二十六條 國庫ハ第二十三條第二十五條ノ府縣稅又ハ地方稅ノ支出ニ對シ其ノ六分一ヲ補助スルモノトス

第二十七條 第七條ノ義務者清潔方法消毒方法ヲ施行セス又ハ之ヲ施行スルモ當該吏員ニ於テ充分ナラスト認ムルトキ及必要ノ時限內ニ施行シ得スト認ムルトキハ當該吏員之ヲ施行シ其ノ費用ハ市町村ヲシテ支辨セシムヘシ此ノ場合ニ於テ市町村ハ其ノ費用ヲ義務者ヨリ追徴スルコトヲ得

私人ニ於テ前項ノ費用ヲ指定ノ期限內ニ納付セサルトキハ國稅滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ徵收ス

第二十八條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ市町村又ハ私人ニ於テ施爲スヘキ事項ヲ施爲セス若クハ之ヲ施爲スルモ充分ナラスト認ムルトキ又ハ必要ノ時限內ニ施爲シ得スト認ムルトキハ地方長官ハ府縣稅又ハ地方稅ヲ以テ之ヲ施爲シ其ノ費用ヲ市町村又ハ私人ヨリ追徴スルコトヲ得

私人ニ於テ前項ノ費用ヲ指定ノ期限內ニ納付セサルトキハ國稅滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ徵收ス

第二十九條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政官廳ノ職權ニ屬スル事項ハ行政處分ヲ以テ之ヲ強制スルコトヲ得

第三十條 第二十七條及第二十八條ノ費用追徴ニ關シ不服アル私人ハ訴願法ニ依リ訴願スルコトヲ得

第三十一條 此ノ法律若クハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ當該吏員ノ指示命令シタル事項ヲ指定ノ期限內ニ履行セサル者ハ別ニ罰則ヲ定ムル場合ノ外五圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十二條 醫師傳染病患者ヲ診斷シ若クハ其ノ死體ヲ檢案シタル後十二時間以內ニ届出ヲ爲サス又ハ虛偽ノ轉歸届ヲ爲シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條 第四條第五條第一項第十條第十一條第十二條第一項第十三條

ニ違背シタル者第五條第二項ニ依リ清潔方法及消毒方法ヲ施行セサル者
交通遮斷ヲ犯シタル者又ハ醫師ニ請託シテ第三條ノ居出ヲ爲サシメス若
クハ其ノ居出ヲ妨ケタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第三十四條 此ノ法律中ノ規程ニシテ其ノ準用シ得ヘキモノヲ除ク外北海
道沖繩縣ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

此ノ法律中市町村ニ關スル規程ニシテ其ノ準用シ得ヘキモノヲ除ク外市
制町村制ヲ施行セサル地ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十五條 海外諸港及臺灣ヨリ來ル船舶ニ對シ施行スル檢疫ハ別ニ定ム
ル所ニ依ル

第三十六條 此ノ法律ヲ施行スル爲ニ必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第三十七條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス但シ第二十五條
及第二十六條ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス

第三十八條 明治三十三年布告第三十四號傳染病豫防規則ハ此ノ法律施行ノ
日ヨリ廢止ス

(政府委員中村元雄君演壇ニ登ル)

○政府委員(中村元雄君) 此傳染病豫防法案ハ御承知ノ如ク現行ノ傳染病豫
防規則ハ明治十三年ノ制定ニ係リマシテ爾來社會ノ變遷傳染病學ノ進歩ト其
他地方ノ制度一般ノコトが大ニ變リマシテ今日デゴザリマスカラ到底今日ノ
豫防規則デハ十分ニ此豫防ヲ爲ス準備ガ出來カネマス故本案ヲ提出致シマシ
タ所以デアリマス、ドウカ十分ニ御審議ヲ盡サレテ本案ニ御協賛アラント
ヲ切ニ希望致シマス

○三宅秀君 政府委員ニ二三ノ質問ヲ致シタウゴザリマス、第一ハ唯今政府
委員ガ新ラシイ傳染病豫防法案ヲ提出セラレマシタ理由ヲ述ベラレマシタガ
至ッテ簡單デアリマシテモウ少々安心ノ出來ル程ナ説明ヲ欲シイト存ジマス、
其譯ト云フモノハ此傳染病ノ中デ一番確實ノ方法ガアッテ十分力ヲ振ッテ豫
防スレバ——豫防ガシキレル、天然痘ノ如キハ此帝國ノ首府ニ今日ノ如ク
跋扈シマシテサウシテ非常ノ慘狀ヲ極メルト云フコトハ隨分嘆ズベキ話ト
存ジマス、先頃モ傳染病豫防費ノコトニ附イテ豫算委員會ノ速記録ヲ見マシ
タ所ガ或ル豫算委員ガ天然痘豫防ノ十分ニ行居イテ居ラヌコトヲ政府委員ニ
色ニ説明ヲ求メラレマシタ所ガ政府委員モ大ニ困却ノ姿ガ委員會ノ速記上見
エルヤウデアリマス、實ニ傳染病ノ流行ハ今日ノヤウニ激シクナリマスルト
云フト日本全國ノ内地ノ人間ガ唯困ッテ居ルト云フバカリデナクシテ段
段日ヲ經テ熾シニナッテ參リマス、從ッテ恙んがばうる邊リデ海港檢疫ヲ施行
ヲ致シテ橫濱長崎ヲ有病地ト見做シテ海港檢疫ナドヲサレマスサウデアリマ
ス、レテ見マスルト云フト第一實際内地デ病人ガ多イト云フバカリデナク是
程開ケタ日本ガ防ギ得ル所ノ天然痘ヲ防ギ得ナイト思ハレテ外國ニ對シテ耻
デアリマス、其上ニ交通ノ不便商業ナドニ取リマシテ餘程諸方デ海港檢疫ヲ

布カレマシタナラバ迷惑ヲ致スコトデアラウト存ジマス、亞米利加ハドウシ
テ居リマスカ未ダ聽キ及ビマセヌガ亞米利加ハ是マデ日本ノ橫濱長崎等ニ天
然痘ガ流行レバ必ズ海港檢疫ヲ布イテ日本カラ參リマシタモノハ幾分か交通
商業上ニ不便ヲ感シテ居ルデアラウト思ヒマス、餘程是ハ影響ヲ及シタコ
トデアラウト存ジマス、此度新規ノ法ヲ布カレマシタナラバ定テ改正ニナリ
マシタダケノ價值デ吾々ハ此度提出ニナッタ所ノ法律ガ實施セラレタ曉ハ
枕ヲ高クシテ眠ルコトガ出來ルヤウニ安心ガ出來ルヤウニナルコトデアラウ
ト存シマスガ果シテ是マデノハ法ガ古イノデ不備ノ法律デアッタカライケナ
イノデ全ク行政官ガ今日ノ如ク有力ノ行政官ガ事務ヲ執ッテ居ラル、コトデ
アリマスカラ其方ノ御手落デハナクテ罪ハ全ク古イ法律ガ負フデアラウト
存ジマスガ其罪ノアル法律ヲ罰シテ此度茲ニ御布キニナル法案ニ據レバ吾々
人民ガ安心シテ居ラル、ヤウニナルデアラウト思ヒマスカラドウカ唯今ノ
ヤウナ簡單ナ御説明デナク此度は是ノ新ラシイ箇條ヲ入レテ斯ウ云フコトニ
シタカラ此法案サエ施行セラレタ曉ニハ安心シテ御出ナサイト安心ノ出來ル
ダケニナッテ居ルト云フコトヲ政府委員ヨリ豫メ御説明ガ欲シイデアリマ
ス、ツレカラ第二ノ質問ノ點ハ此法ノ施行期限ハ如何ニモ追ッテ居リマスガ
即チ本年四月一日ヨリ施行スルコトニナッテ居リマス、段々此法ヲ讀ンデ見
マスルト二三箇所必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ルト云フヤウナ所ガ此法
案中ニ二三箇所ゴザイマス、此法ヲ施行スルニ必要ナル規定ト云フモノハモ
ウ既ニ御準備ガ出來テ居リマスノデゴザイマス、四月一日カラ施行スルト
云フノデアリマスカラ恐ラク御準備ガアルコトデアラウト存ジマスガソレ
ヲ承リタイ、ツレカラ第三ノ質問ハ此三十五條デアリマスガ「海外諸國及臺灣
ヨリ來ル船舶ニ對シ施行スル檢疫ハ別ニ定ムル所ニ依ル」トボンヤリ書イテ
アリマス、此別ニ定ムル所ニ依ルト云フノハドウ云フコトニ依リマスノデア
リマス、矢張其外ノ文章ト同シヤウナ工合ニテ解シテ、命令デアリマスルカ
勅令以下ノモノデアリマスノデアリマス、或ハ特ニ是ガタメニ法律デモ御
設ケニナル御積デアリマス、果シテ之ヲ法律デ御設ケニナルト云フ御案
ガアリマスルナラバ何故此度御提出ニナリマシタ案ト一緒ニ出マセヌデアリ
マスルカ、此法律ト云フモノハ内地ノタメニ設ケラレタ、内地ノ傳染病ヲ豫
防スルタメニ設ケラレタモノデアリマセウケレドモ外國カラ這入ッテ來ル所
ノ傳染病ハ殆ド門番モ置カズニ居ルト云フヤウナ工合デ自由自在ニ外國カラ
恐ルベキ所ノ傳染病ガ這入ッテ來ルノニ其方ハ一向手著ケズニ置キマシテ唯
内地ダケノ傳染病ヲ豫防スルト云フ施行期ニ先ダッ僅カニ二三週間前ニ之ヲ出
シテ御置キニナッテ外國カラ來ル所ノ傳染病ヲ防グト云フ所ノ法律ガ出ルト
モ出ヌトモマダ御説明ヲ承リマセヌカラ分リマセヌガ、ツレヲ御出シニナル
カ、御出シニナルナラバ何故同時ニ御出シニナラヌノデアアルカ、其邊ノ所ヲ
詳シク政府委員カラ承ッテ置キタイ

○瀧口吉良君 定足數ニ缺ケテハ居リマセヌカ

○副議長(侯爵黑田長成君) 唯今取調ベテ居リマス

(政府委員三崎龜之助君演壇ニ登ル)

○政府委員(三崎龜之助君) 三宅サニ御答致シマス、第一ノ點ハ三宅サニモ詳シク御承知デアリマセウガ是マデノ現行法ハ十三年ニ發布ニナリマシテ其以來ト云フモノハ地方制度ニモ餘程ノ大改革ガゴザイマス、ソレカラ其以來色々主務省ニ於キマシテハ其制度ノ改革ノ……改正セラレタガタメニ實施スル上ニ隨分困難ヲ感シテ居リマシタノデゴザイマス、ソレデ此度出シマシタ重ナル理由ハ何分此傳染病ノ豫防ハ先ヅ一己人又ハ上ツテ一町村、一市、一府縣ト云フヤウニ段々上ツテ良イ豫防ノ方法ヲ密ニシヤウト云フ目的デゴザイマス、所ガ現行法ニハ其點ハアリマシテモ實際行フニ段々差支ヘルコトガゴザイマス、デ此度提出シマシタノハ即チ市町村デハ是ミヲシナケレバナラヌ、又一己人ニ於テハ是ミノコトヲシナケレバナラヌ、府縣ニ於テハ是ミノコトヲシナケレバナラヌ、又國ハ是ミノコトヲスルト一ニ區分ヲシテ、ソレデ冀クハ豫防ノ方法ヲ密ニシタイト云フ精神ガ重ナル理由ノ一ツデゴザイマス、デ此法案ガ出來マスレバ是マデ色々斟酌シテ色々ノ命令ヲ發シテ其間ヲ編綴シテ往クヤウナ迂遠ナヤリ方ヲセヌデモ迅速ニ豫防ノ方法ヲ附ケル積デ居リマス、從テ是ガ愈々實施シマスレバ是マデヨリハ豫防ノ上ニハ有效ナル結果ヲ得ヤウト思惟シテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ第二點ハ今此方ヘハ持テ來デ居リマセヌケレドモ、是マデ色々ノ命令ヲ發シテ居リマスルシ此法律ノ施行ニ必要ナル點ニ關聯シテ居ル命令モ發シテ居リマスルシ、又今將ニ是ガ愈々施行セラレマスレバ必要ナル命令ヲ發スル積デゴザイマス、其用意ハ略々整フテ居ルノデゴザイマス、唯今攜帶シテ居リマセヌカラ、其點ハ詳シク申上ゲルコトハ出來マセヌ、ソレカラ第三點ハ如何ニモ御尤デゴザイマ스가御承知デモゴザイマセウガ、此外國船ニ對シテ検査シマスルノハ十五年ノ布告デゴザイマス、デ實ハマダ改正條約モ實施セラレテ居リマセヌカラシテ外國船ニ對シテ法令ヲ發シマスルノハ隨分色々手數ヲ要スルノデゴザイマス、現今ハ先ヅ取敢ヘズ十五年ノ布告第十一號ヲ其儘繼續シテ用ヒテ居ル積デゴザイマス、併ナガラ茲ニ港則ガ、即チ港灣ノ取締規則ト申シマスルモノガ出來マスノデ是ガ出來マシタラバ引續イテ勅令ヲ以テ定メル積ニハ見込ヲ立テ、居ルノデゴザイマス、取敢ヘズノ所ハ十五年三十一號ノ布告ヲ即チ從前ノ通施シテヤツテ往ク積デ居リマスノデ……

(高木兼寛君發言ヲ求ム)

○副議長(侯爵黑田長成君) 何分定足數ニ充チマセヌニ依ツテ本日ノ會議ハ延會致シマス、明後日ノ議事日程ハ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官朗讀)

明治三十年三月十一日午前十時開議

第一 傳染病豫防法案政府提出第一讀會(前會ノ續)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

- 第三 阿片法案、政府提出第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第五 集會及政社法中改正法律案政府提出、衆議院送付、第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第七 明治二十七年法律第二十三號改正法律案政府提出、衆議院送付、第一讀會
- 第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第九 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
- 第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十一 水害地方地租特別處分法案、衆議院提出、第一讀會
- 第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十三 千葉縣茨城縣境界變更法律案、衆議院提出、第一讀會
- 第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十五 復祿及復族祿ノ請願會議
- 第十六 明治七年以後戰死者遺族弔祭料下賜ノ請願、會議
- 第十七 地租免除ノ請願、會議
- 第十八 羽越鐵道第一期線ニ綫上ケ敷設ノ請願、會議
- 第十九 清國償金ノ一部ヲ普通教育基金ニ充ルノ請願、會議
- 第二十 古社寺保存ノ請願、會議
- 第二十一 拂下米下附ノ請願、會議
- 第二十二 不正肥料販賣取締ニ關スル法規制定ノ請願、會議

○副議長(侯爵黑田長成君) 本日ハ散會
午後二時五十分散會